




<h2>セパハンセット</h2>	適応車種	商品NO.
	GB350/S (21~) <2BL-NC59>	17796 (マットブラック) 31284 (バフ仕上げ)





■ ご使用前に必ずご確認ください ■

※本商品のご使用前に最終項に記載のURL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。

※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。

※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

	要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。
	<ul style="list-style-type: none"> 本商品は本来の使用用途以外や記載している適合車種以外には使用しないでください。 本商品に曲げや切削などの加工を行なわないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> 本商品の装着は重要保安部品（ブレーキホース）の取り付けを含むため、認証工場での作業が義務付けられています。 本商品の装着後は、ハンドルを左右にいっぱいきって、接触する部分や各ケーブルやホース、ハーネスなど無理がないか確認してください。 エンジンを始動させる場合は、必ず換気の良い場所で行なってください。 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。

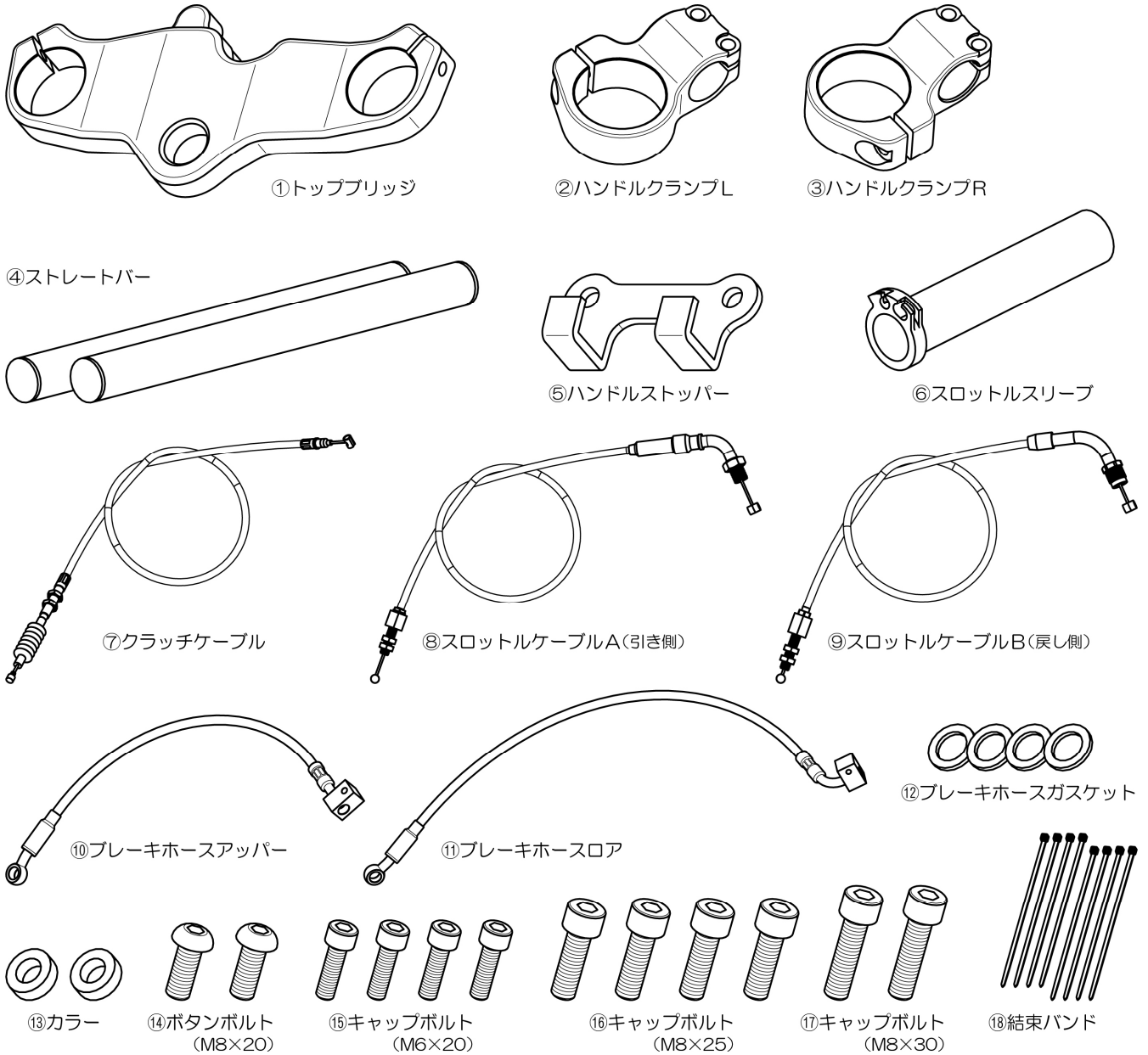
	要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
	<ul style="list-style-type: none"> パッケージ開梱時や商品取り扱い時にパッケージや商品の端面、突起、バリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。取り扱いの際や洗車を行なう際は必ず保護手袋を使用し、ケガには十分に注意して作業を行なってください。 本商品を開梱の際は、構成部品や外観の不具合、異常がないことを必ず確認してください。万一気づきの点がありましたら、ご使用前にお買い求め販売店へ速やかにご相談ください。 本商品を取り付ける前に本書とメーカー発行のサービスマニュアルをよく読み、理解したうえで作業を行なってください。 作業は周囲の安全を確保し、車両の転倒やケガに十分注意して、取り付け作業を行なってください。 ボルトやナット類の締め付けにはトルクレンチを使用して、所定トルクまたは車両メーカー発行のサービスマニュアルで指示されたトルクで確実に締め付けてください。 本商品を取り付けた場合にヘッドライトブラケットの位置が変わります。必ず光軸の再調整を行なってください。 取り付け後に約 100km 走行しましたら各部を必ず点検整備してください。その後は約 500km 毎に必ず点検整備を行ない、各部に異常がないか確認し、必要に応じてネジの増し締めを行なってください。
	<ul style="list-style-type: none"> 車体寸法が変わるため車検証の記載変更が必要となります。
	<ul style="list-style-type: none"> 本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は一切お受けできません。また商品保証は本商品のみが対象になります。 本商品は純正車両をベースとした単独装着を前提に設計されており、純正オプションや社外パーツなどを取り付けたり、交換されている場合は、取り付けができない場合がございます。 本商品の装着時、純正バーエンド及び純正グリップは装着できません。別売のグリップ（120~125mm）へ交換が必要です。 仕向地の違いにより純正部品の形状や脱着方法が異なる場合があります。また、お取り付けできない場合がございます。あらかじめご了承ください。 本商品は素材にスチールとアルミ、ゴム、樹脂を使用した商品になります。ご使用環境や経年変化、メンテナンス状況により、色落ちや素材劣化（サビ含む）が早期から進行する場合がございます。 本商品を取り付けた場合、車両側の取り付け面や装着部品、その周辺にキズが付く可能性がございます。 本商品、または本書内でご紹介した商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

本商品の特長

- セパレートハンドルスタイルを大きく変えるパーツの一式セット
- 低すぎないハンドルは長時間の走行でも疲れにくいポジション
- ハンドルロック可能で保安基準もクリア
- 付属のショートケーブルでハンドル周辺もスッキリ

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	トップブリッジ		1	⑩	ブレーキホースアップパー	GB350 対比-80mm	1
②	ハンドルクランプL		1	⑪	ブレーキホースロア		1
③	ハンドルクランプR		1	⑫	ブレーキホースガスケット		4
④	ストレートバー	穴開け加工済	1	⑬	カラー	Φ9×Φ15×5L	2
⑤	ハンドルストッパー		1	⑭	ボタンボルト	M8×20	2
⑥	スロットルスリーブ	フラットタイプ	1	⑮	キャップボルト	M6×20	4
⑦	クラッチケーブル	GB350 対比-100mm	1	⑯	キャップボルト	M8×25	4
⑧	スロットルケーブルA (引き側)	GB350 対比-60mm	1	⑰	キャップボルト	M8×30	2
⑨	スロットルケーブルB (戻し側)	GB350 対比-60mm	1	⑱	結束バンド	100mm	8



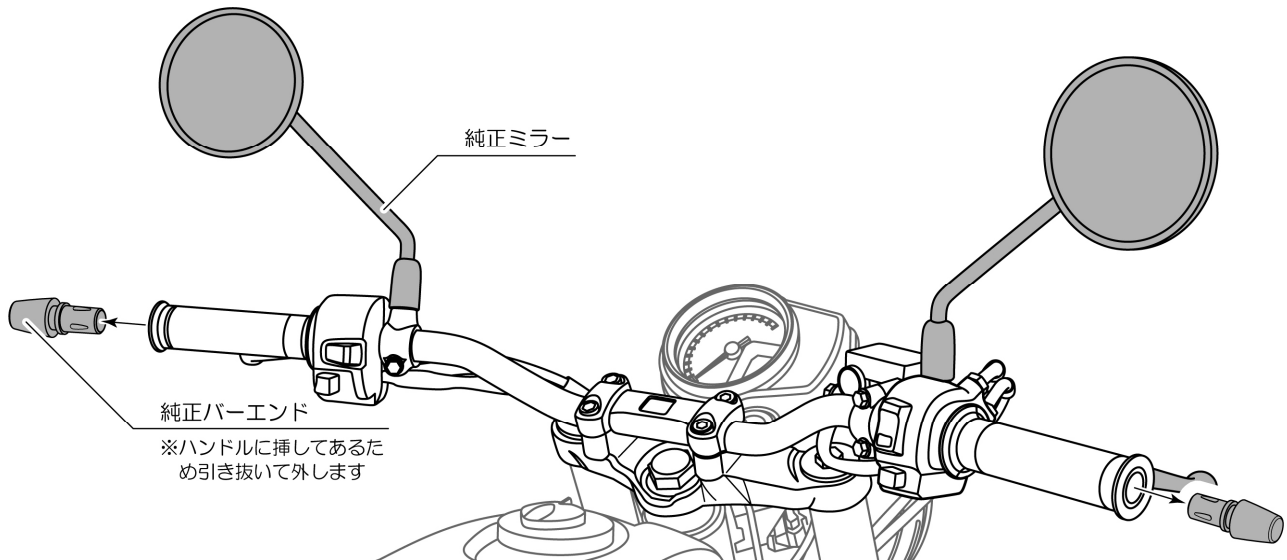
取り付け方法

【作業前の注意事項】

- 純正部品の取り外し、取り付けについては車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照して正しく行ってください。
- 作業を始める前に周囲の安全を確保します。またセンタースタンドを必ず使用し、車両をしっかり固定し、転倒や怪我等十分に注意して作業を行ってください。

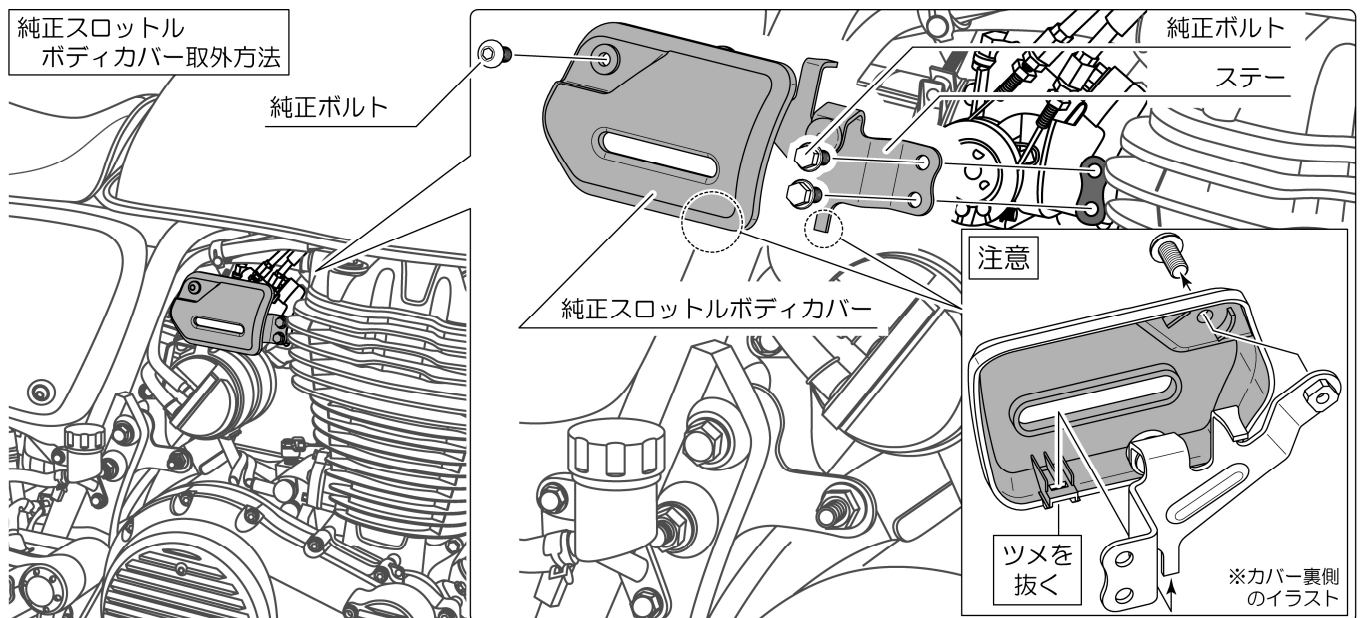
01. 純正ミラーと純正バーエンドの取り外し

- 車両より純正ミラーと純正バーエンドを取り外します。
- ※純正バーエンドはハンドルの圧入されております。純正バーエンドを引っ張り抜きます。



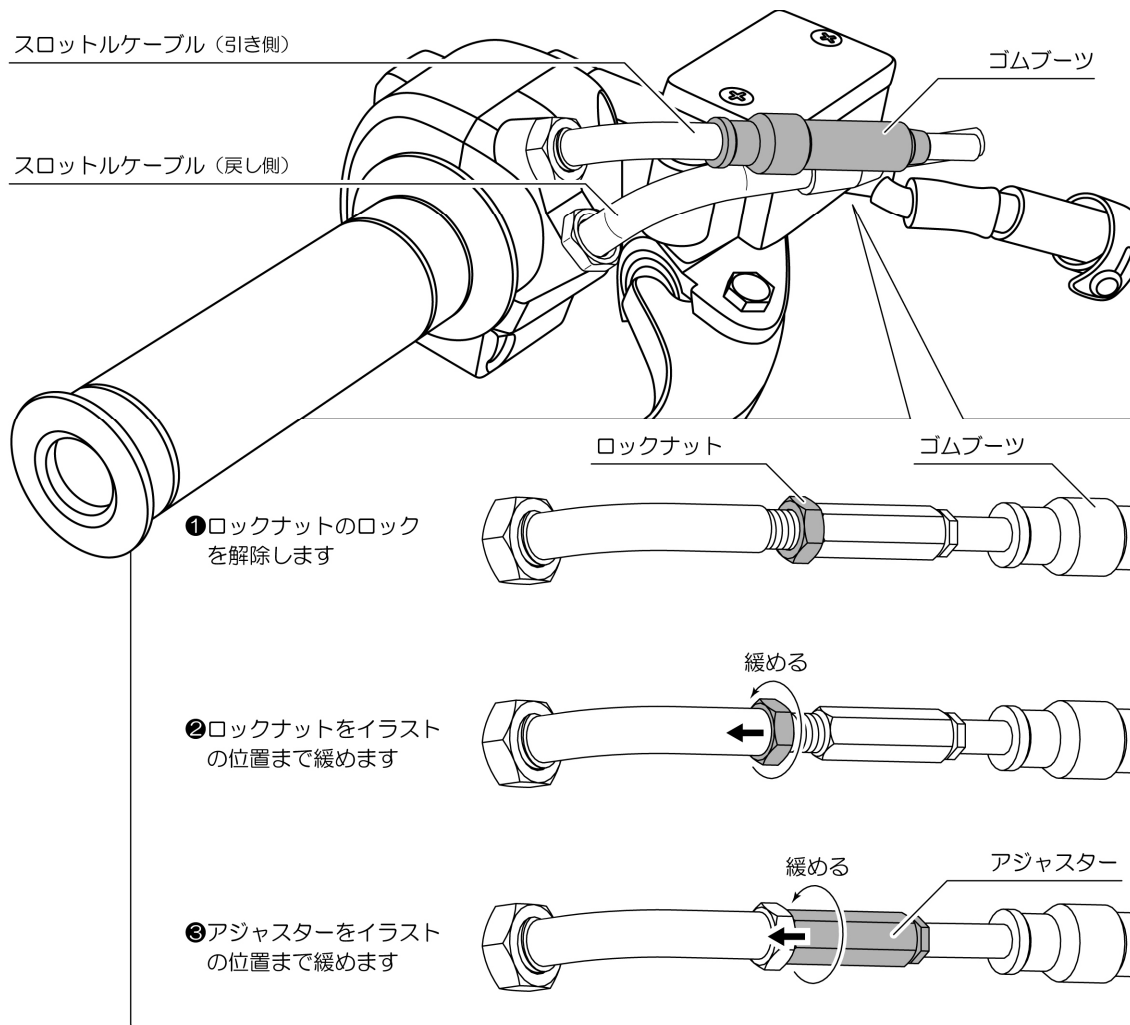
02. 純正スロットルボディカバーの取り外し

- イラストを参考に純正スロットルボディカバーを取り外します。



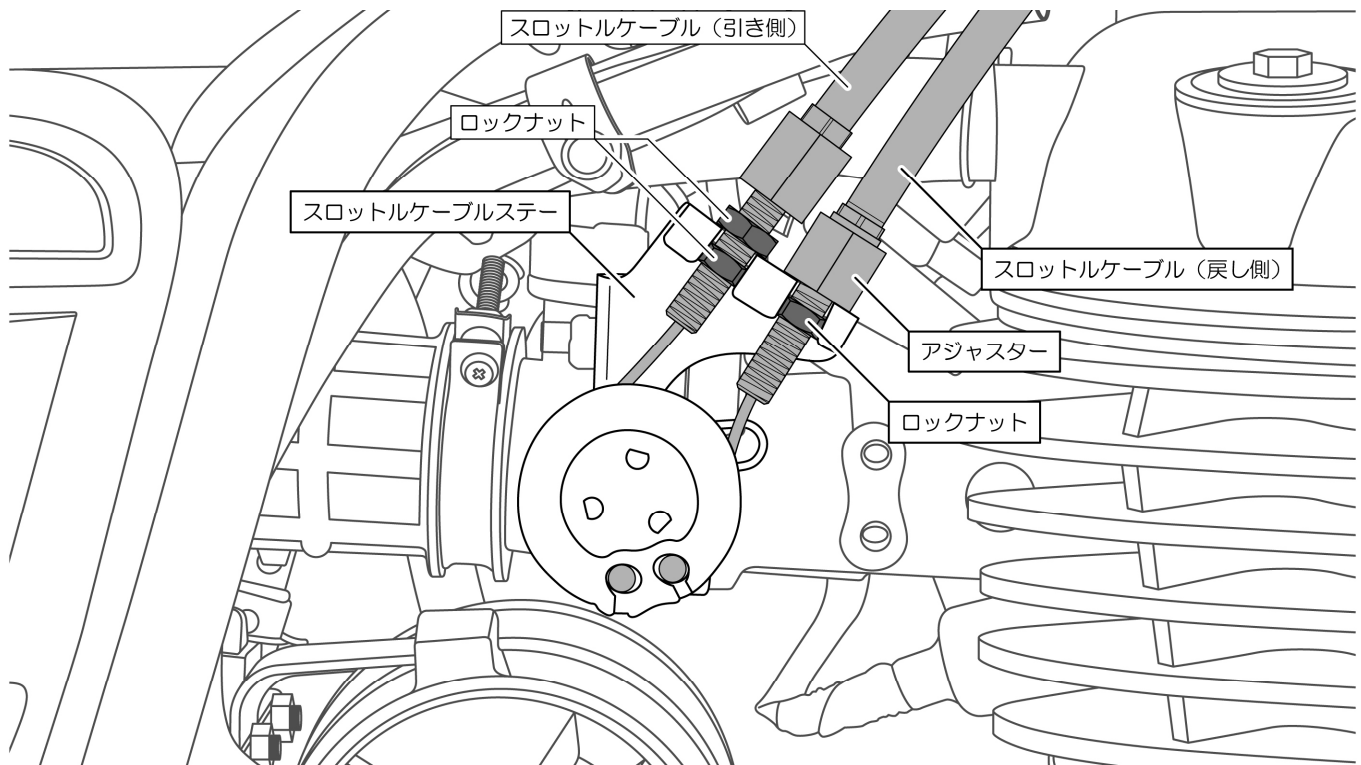
03. 純正スロットルケーブルの取り外し（1）

- 下記手順でハンドル側のスロットルケーブルを緩めます。
- スロットルケーブル（引き側）のゴムブーツを横に移動させアジャスターを出します。
- 下イラストの手順①～③を参考に、ロックナットを限界まで緩め、アジャスターも同様に緩めます。



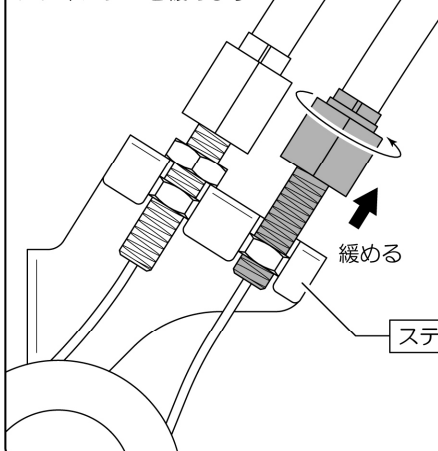
04. 純正スロットルケーブルの取り外し（2）

- 下記手順でスロットルボディ側のスロットルケーブル（戻し側）を外します。
- 下イラストの手順①～⑤を参考に、スロットルケーブル（戻し側）を外します。
※スロットルケーブル（引き側）も上側にあるロックナットを緩めた後に、同様の手順で外します



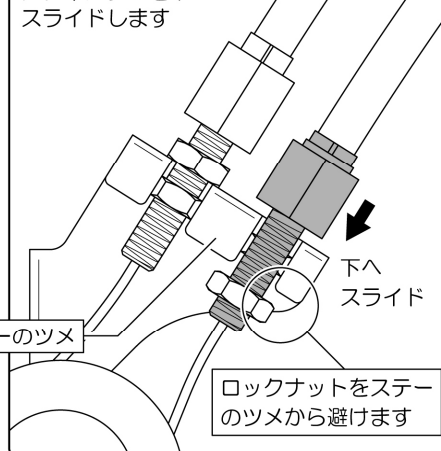
①取外し手順

アジャスターを緩めます



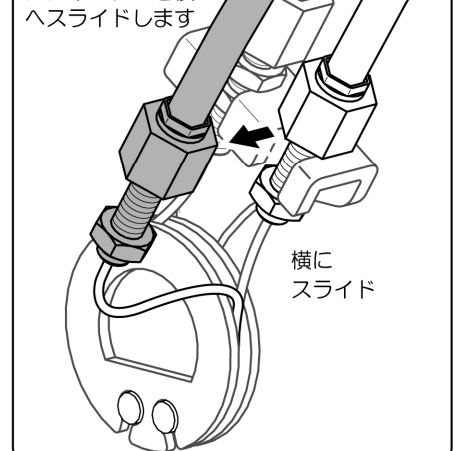
②取外し手順

アジャスターを下へスライドします



③取外し手順

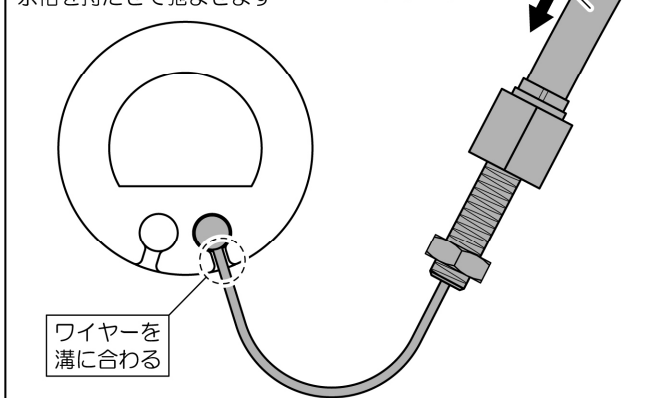
アジャスターを横へスライドします



④取外し手順

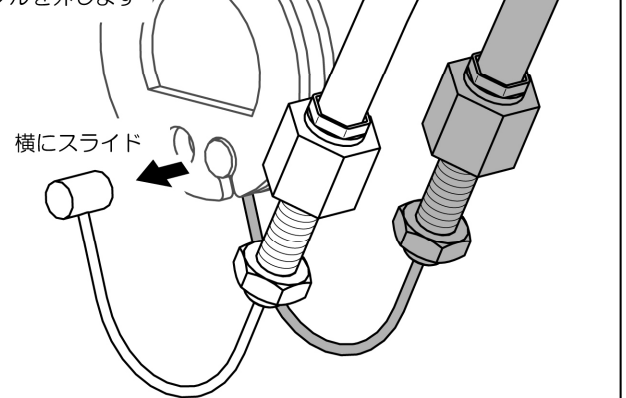
スロットルケーブルを引き出し、ワイヤーに余裕を持たせて弛ませます

スロットルケーブル全体を引っ張り出す



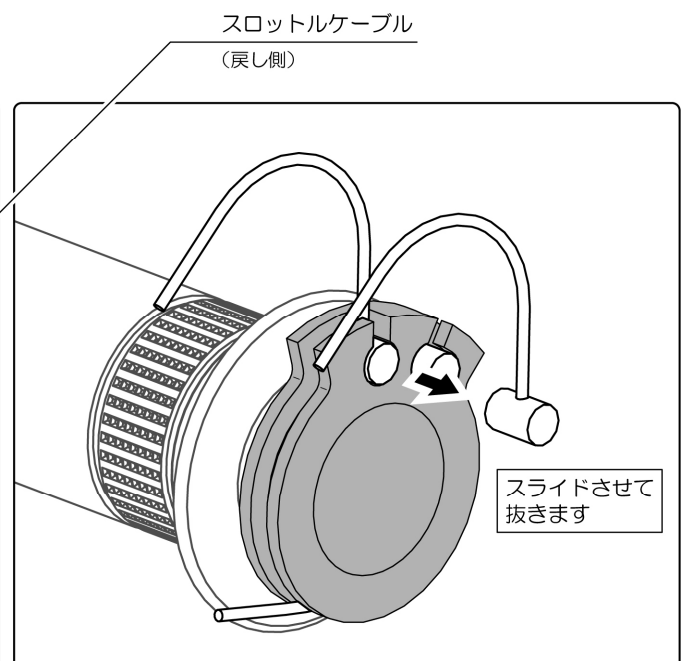
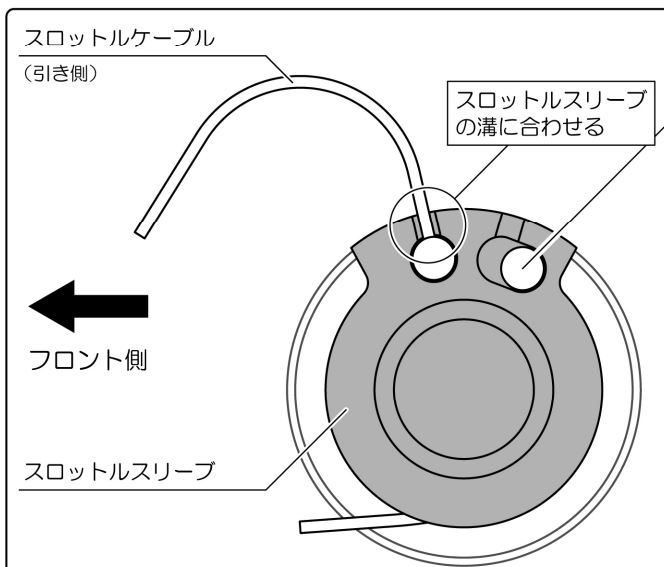
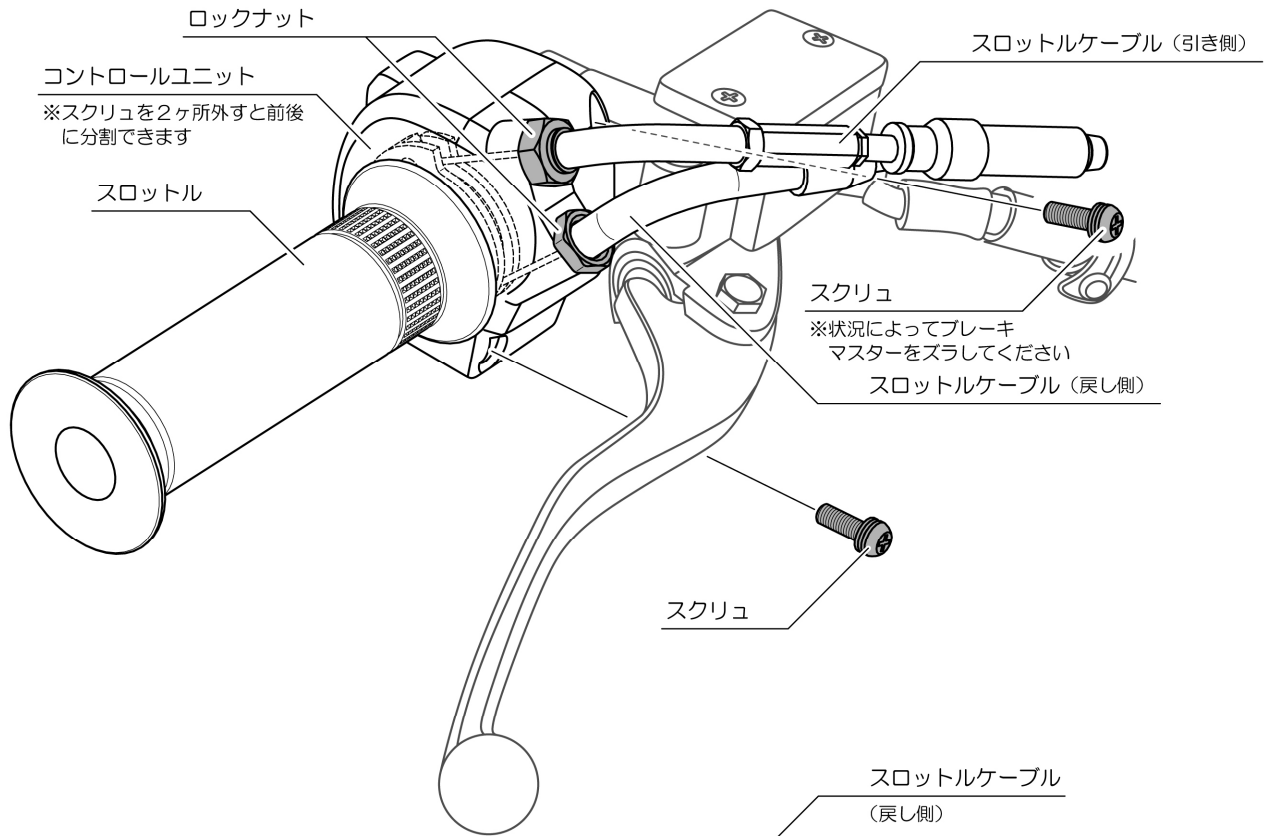
⑤取外し手順

スロットルボディからスロットルケーブルを外します



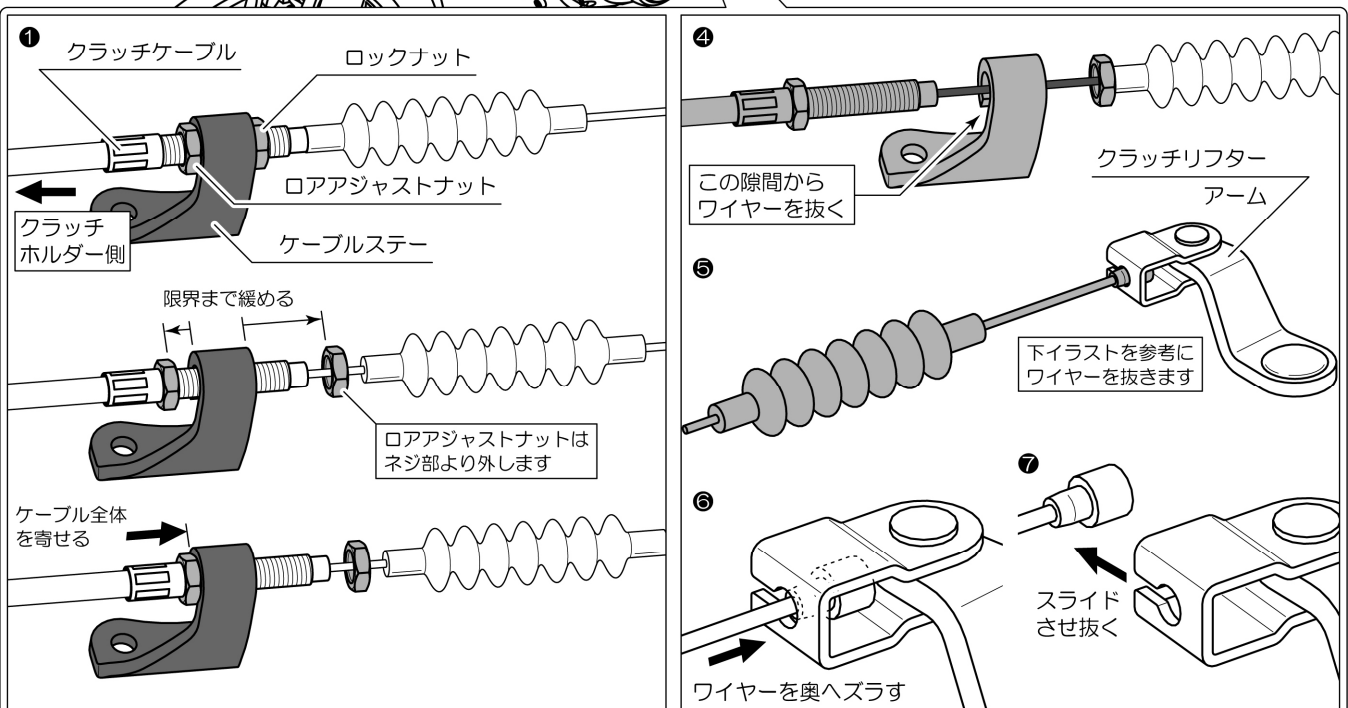
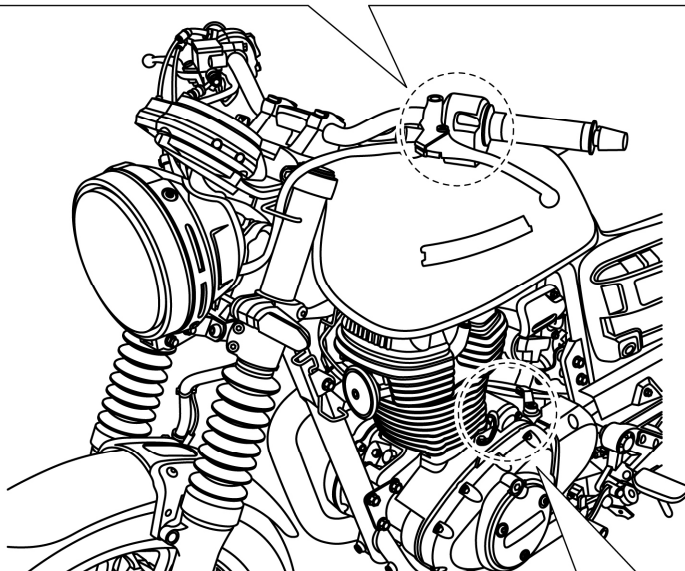
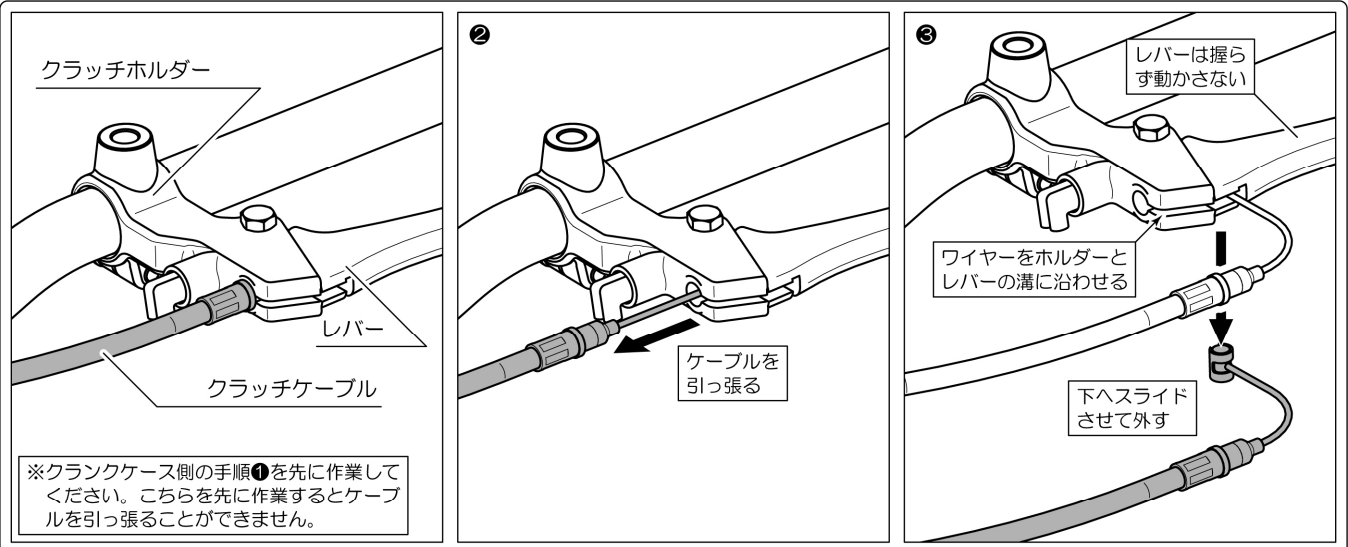
05. 純正スロットケーブルの取り外し（3）

- スロットケーブル（引き側&戻し側）のロックナットを緩めます。
- コントロールユニットを固定しているスクリュ（2本）を外し、コントロールユニットを前後に分割します。
※ブレーキマスターが接触し、スクリュに工具が入らない場合は、ブレーキマスターを少し移動させてください。また、この段階ではブレーキマスターは外さないでください。
- イラストを参考にスロットスリーブよりスロットケーブル（引き側&戻し側）を外します。
- スロットスリーブとコントロールユニットを車両より取り外します。
※コントロールユニットはハーネスが車両につながっているため、完全に取り外しができません。ウエスなどで保護し、作業の邪魔にならない場所に避けてください。



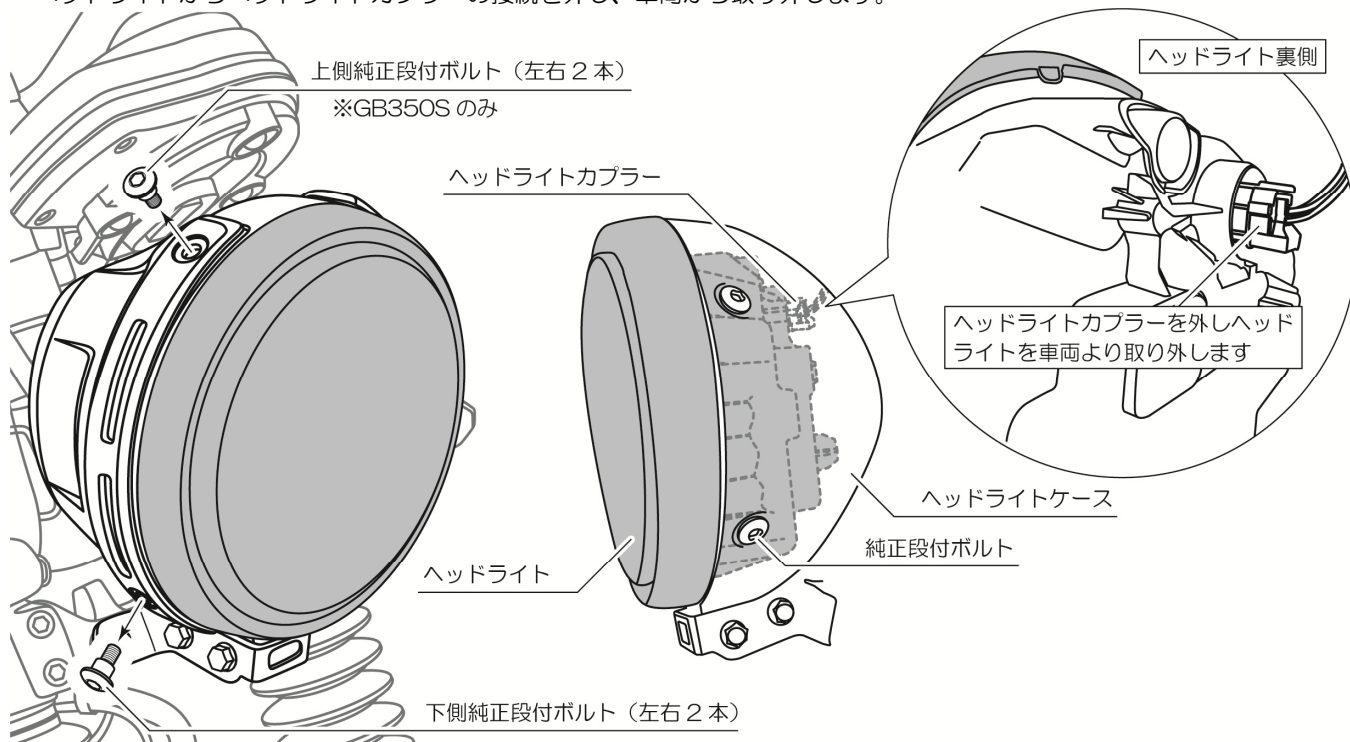
06. 純正クラッチケーブルの取り外し

- 手順①の様にロックナットをワイヤー部まで緩め、ロアアジャストナットを限界まで緩めます。ロアアジャストナット側のクラッチケーブルをケーブルステー側に寄せます。
- 手順②の様にクラッチケーブルを引っ張り、手順③の様にクラッチホルダーの溝に沿ってワイヤーを外します。
- 手順④の様にクラッチケーブルをワイヤー部までズラして、ケーブルステーから抜きます。
- 手順⑤～⑦を参考にクラッチリフターアームよりワイヤーを抜きます。



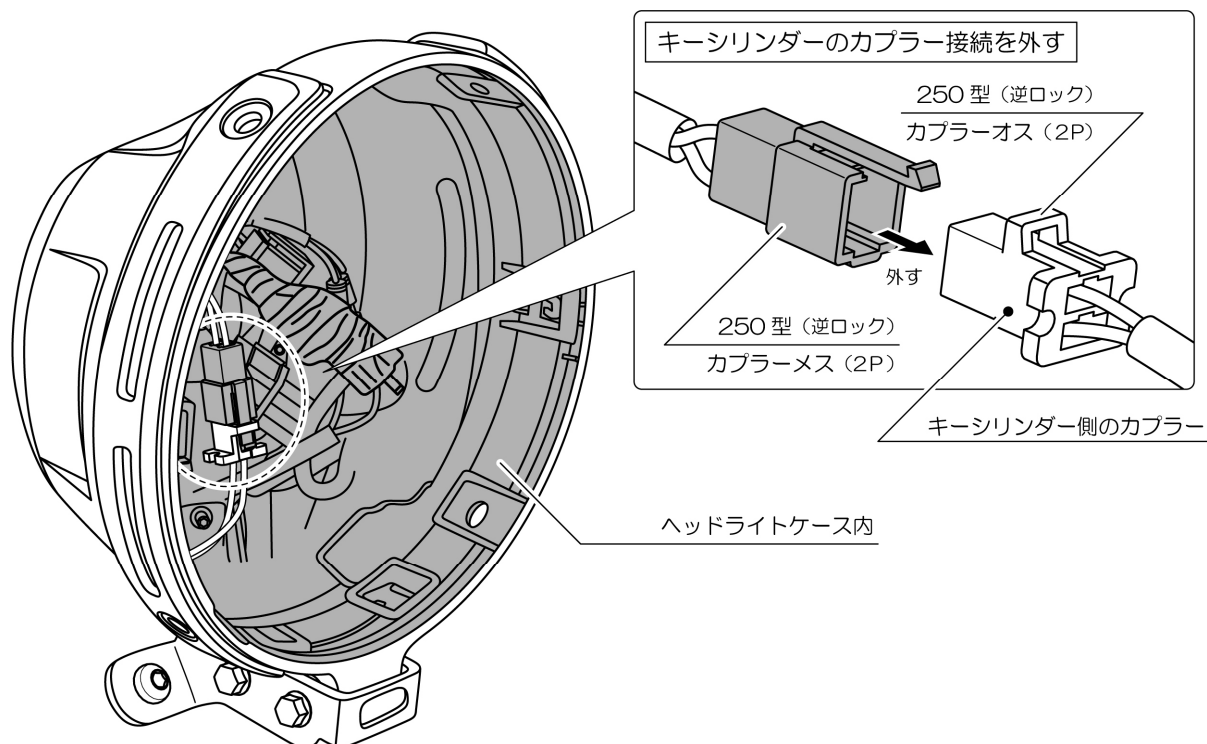
07. ヘッドライトの取り外し

- GB350Sの場合、ヘッドライトを固定している純正段付ボルト（4本）を外します。GB350 の場合は同様に純正段付きボルト（2本）を外します。
- ヘッドライトからヘッドライトカプラーの接続を外し、車両から取り外します。



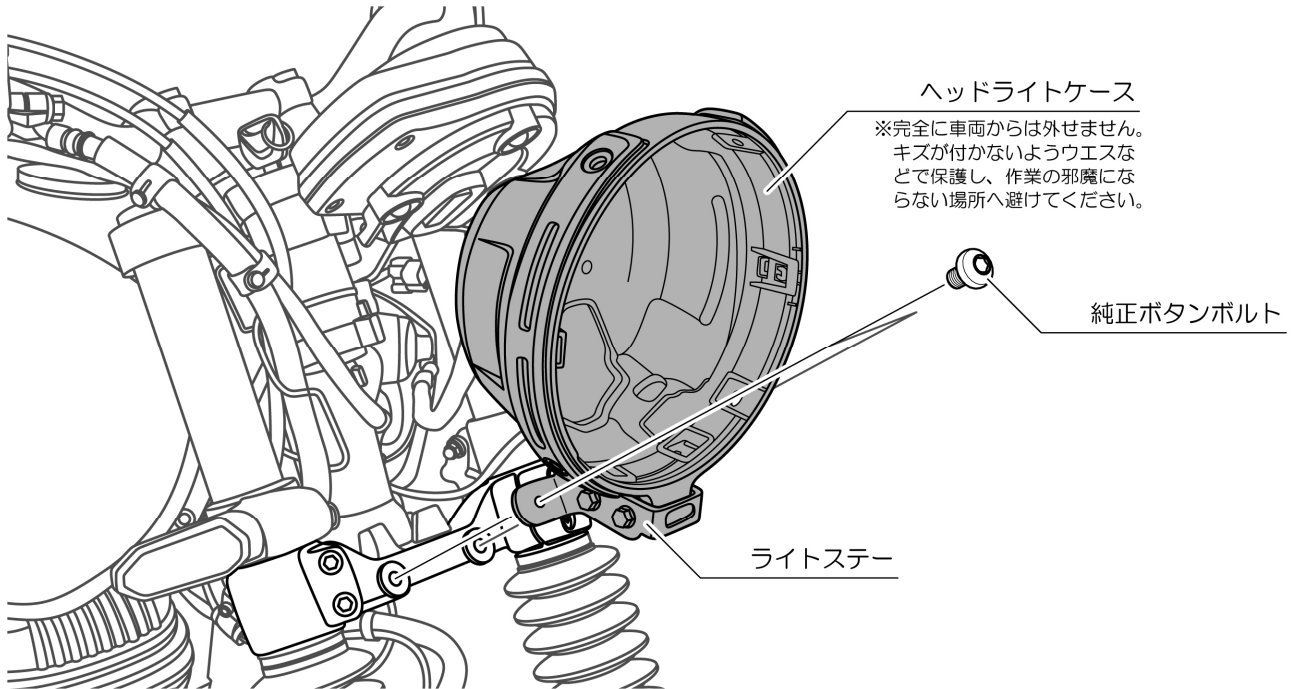
08. キーシリンダーのカプラー接続の取り外し

- キーシリンダーより伸びているハーネスをたどり、ヘッドライトケース内にある2極カプラーの接続を外します。
- キーシリンダー側の配線をヘッドライトケースから取り出します。



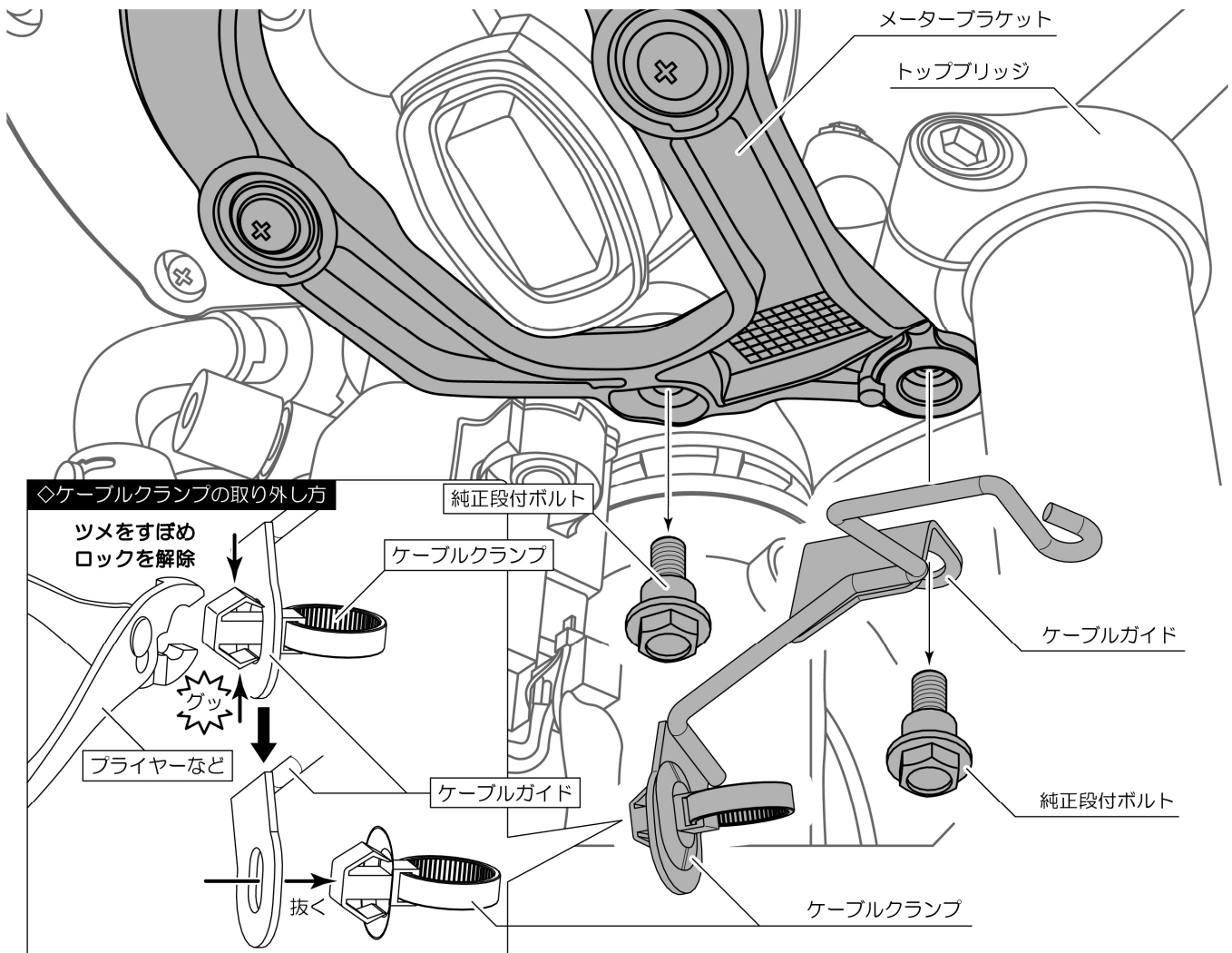
09. ヘッドライトケース ASSY の取り外し

- ・イラストを参考に純正ボタンボルト（2本）を外し、ヘッドライトケースとライトステーを外します。
- ※ヘッドライトケースは完全に外れません。ウエスなどで保護して邪魔にならない場所に避けてください。



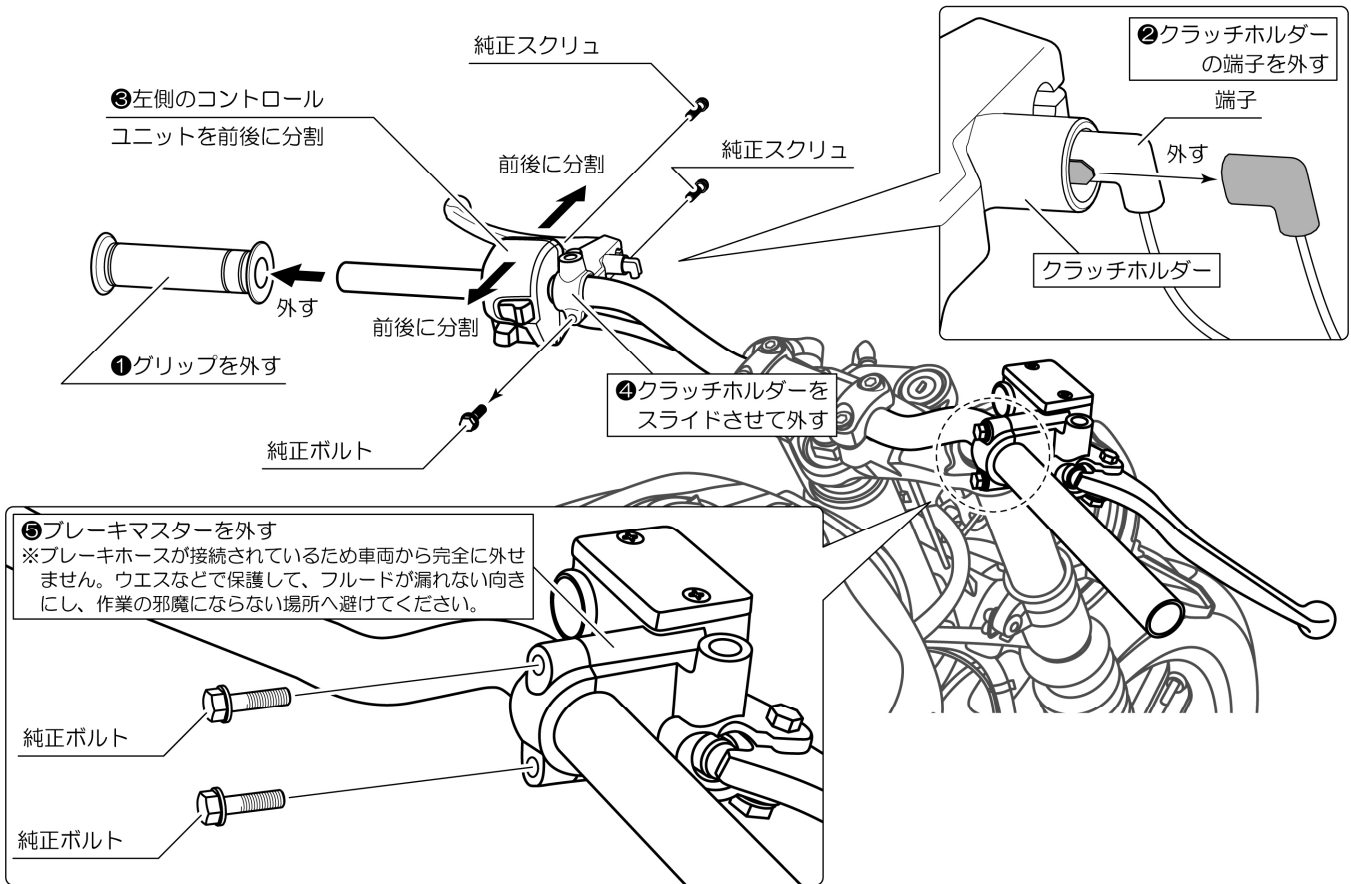
10. ケーブルガイドとメーターステーの取り外し

- ・イラストを参考にケーブルガイドからケーブルクランプを取り外します。
- ・メーターブラケットを固定している純正段付ボルト（2本）を外し、メーターブラケットとケーブルガイドを外します。
- ・メーターからハーネスを外し、メーターとメーターブラケットを車両より取り外します。



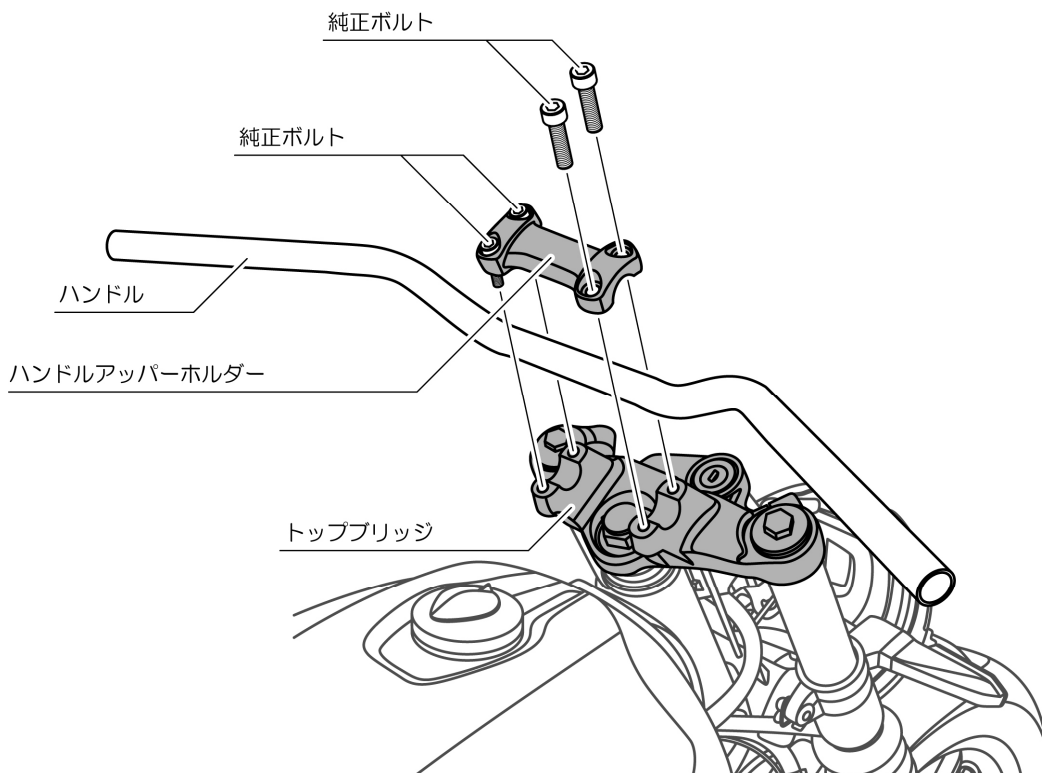
11. 左側のコントロールユニットとクラッチホルダー、グリップ、ブレーキマスターの取り外し

- グリップを取り外し、クラッチホルダーに接続された端子を外します、
 - 左側のコントロールユニットを固定している純正スクリュ（2本）を外し、コントロールユニットを前後に分割してハンドルより取り外します。
 - クラッチホルダーを固定している純正ボルト（1本）を外し、クラッチホルダーをスライドさせてハンドルより外します。
 - ブレーキマスターを固定している純正ボルト（2本）を外し、ブレーキマスターを外します。
- ※手順 39 までブレーキマスターはブレーキホースを接続した状態にしておきます。ウエスなどで保護し、フルードが漏れない向きで、作業の邪魔にならない場所に避けておきます。



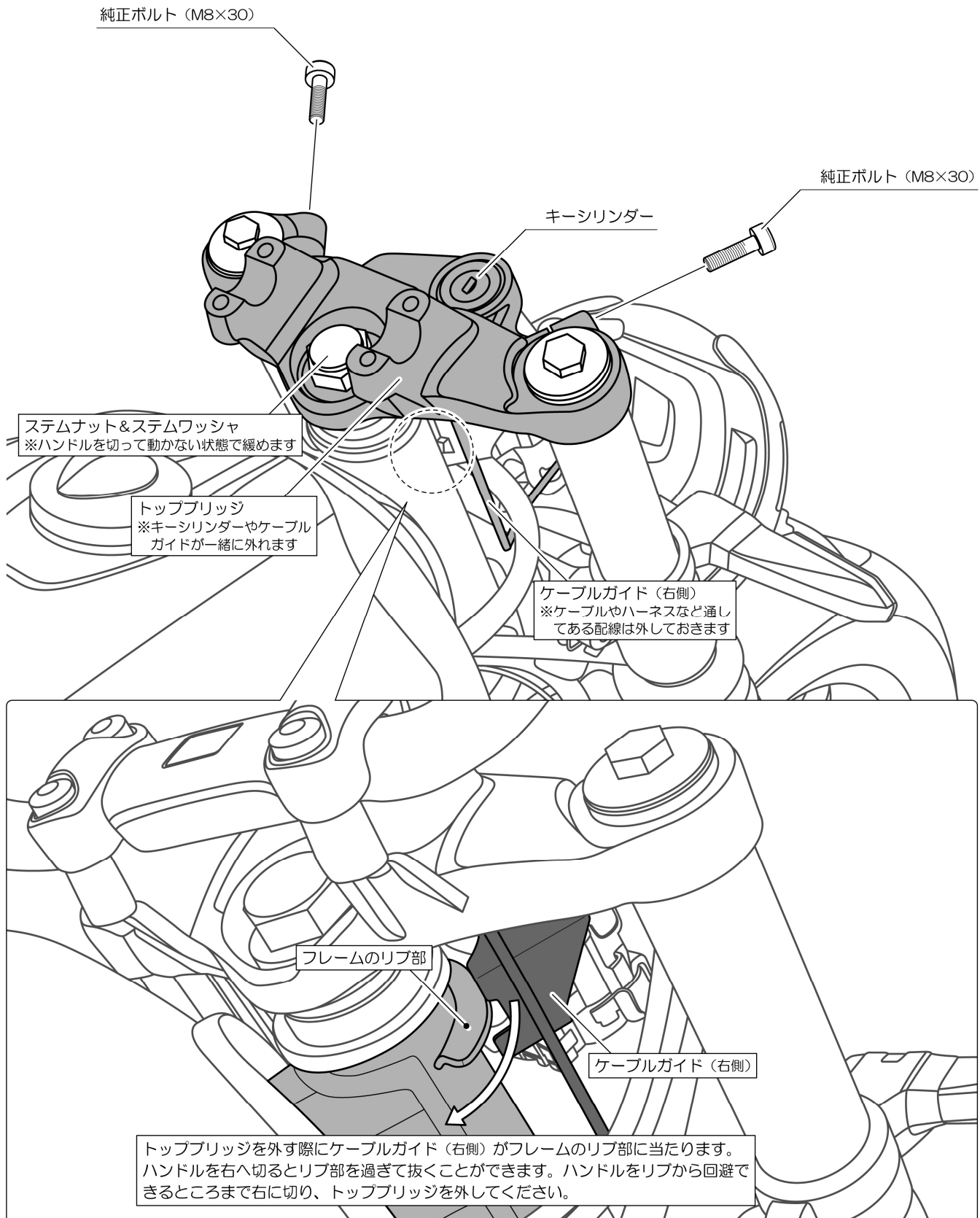
12. ハンドルの取り外し

- イラストを参考に純正ボルト（4本）を外し、ハンドルアッパーホルダーを外してハンドルを取り外します。



13. トップブリッジの取り外し

- ケーブルガイド（右側）に通してある、ケーブルやハーネスを外します。
 - **トップブリッジを左いばいに切り**、ステムナットを緩めます。
 - **トップブリッジを真っ直ぐに戻し**、トップブリッジを固定している純正ボルト（2本）を外します。
 - **トップブリッジを右いばいに切り**、トップブリッジを上にはずして取り外します。
- ※ケーブルガイドやキーシリンダーはトップブリッジに固定されているため、一緒に外してください。
 ※トップブリッジの向きによっては、ケーブルガイドがフレーム側のリブに接触します。ご注意ください。



14. キーシリンダーの取り外し

『キーシリンダーを固定している純正ボルトは、盗難防止のために緩めることができない構造となっております。そのため下記の重作業が必要となります。』

◇新品のキーシリンダーをご用意いただくことで、この作業は不要となります。ただし純正ヘルメットホルダーやサイドカバーのキーと別々になります。あらかじめご了承ください。

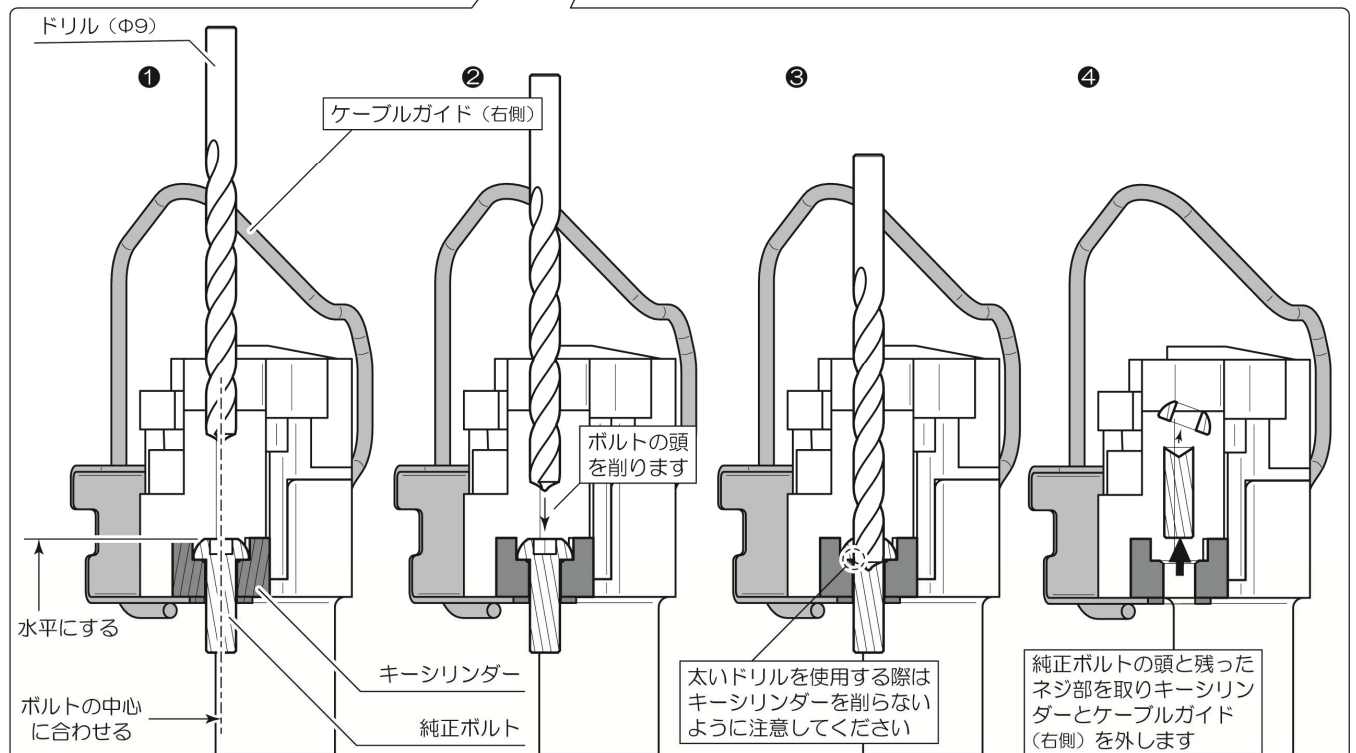
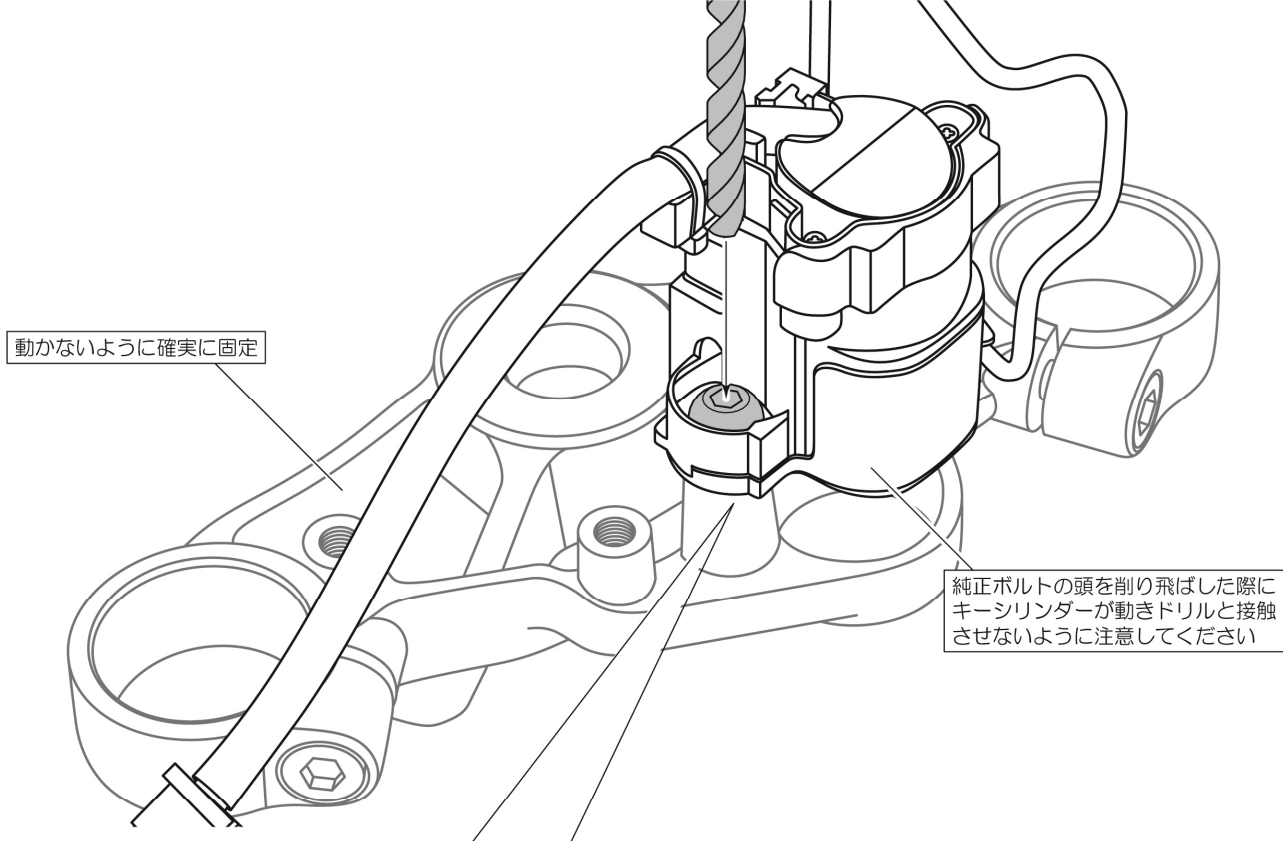
・イラストを参考にキーシリンダーを固定している純正ボルトが水平になるよう工作機械へトップブリッジを固定します。

⚠注意 ※本作業は非常に危険な作業になります。トップブリッジやドリルなど確実に固定できるボール盤などの工作機械を使用して、慎重に作業を行なってください。また工作機械に不慣れな方は必ず、熟練した作業者の方に作業をご依頼ください。

※ハンドドリルなどで作業は絶対にしないでください。部品にキズを付けたり、重症を負う恐れがございます。

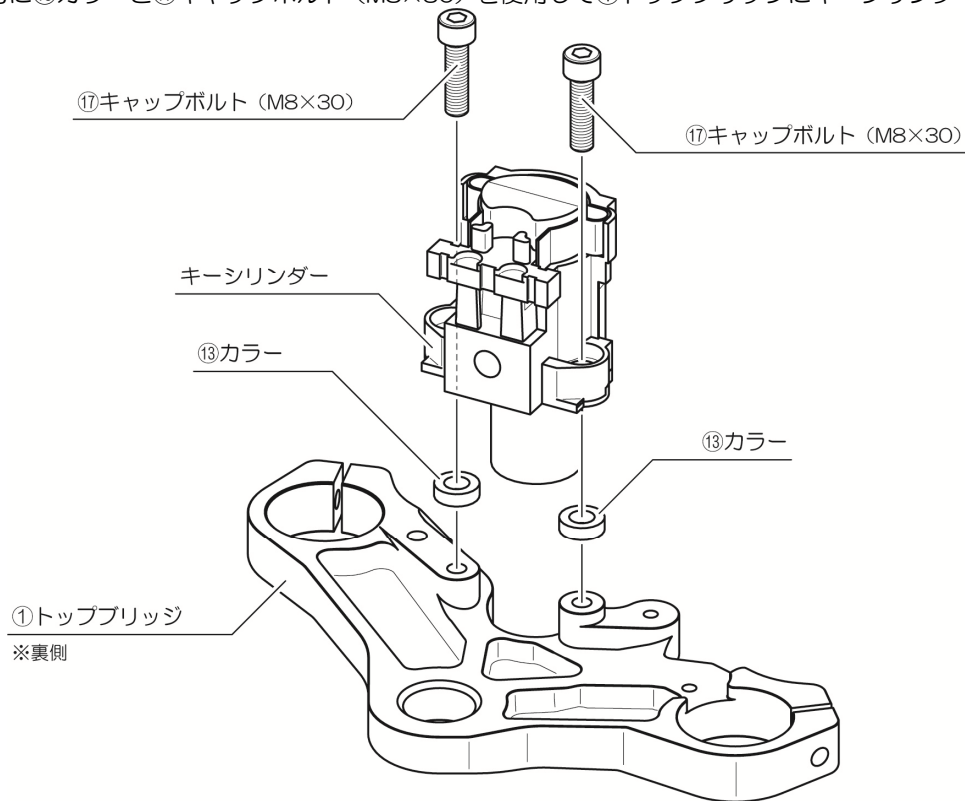
・Φ9 ドリルをセットし、イラストを参考に純正ボルト（2本）の頭を削り、キーシリンダーを取り外します。

※加工後に残ったネジ部はプライヤー等で取り外してください。純正トップブリッジの再使用が可能です。



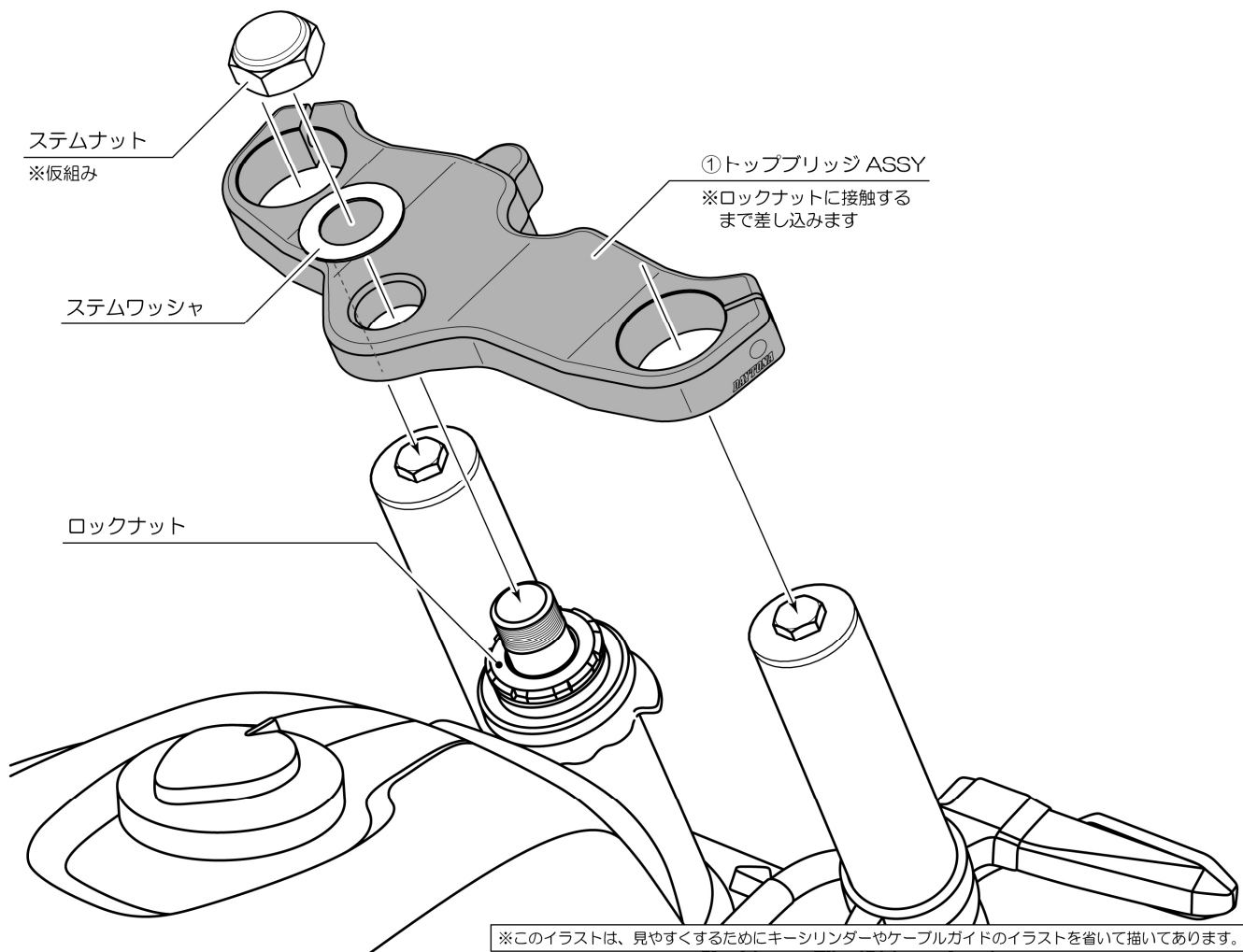
15. キーシリンダーの取り付け

- イラストを参考に⑬カラーと⑰キャップボルト (M8×30) を使用して①トップブリッジにキーシリンダーを仮組します。



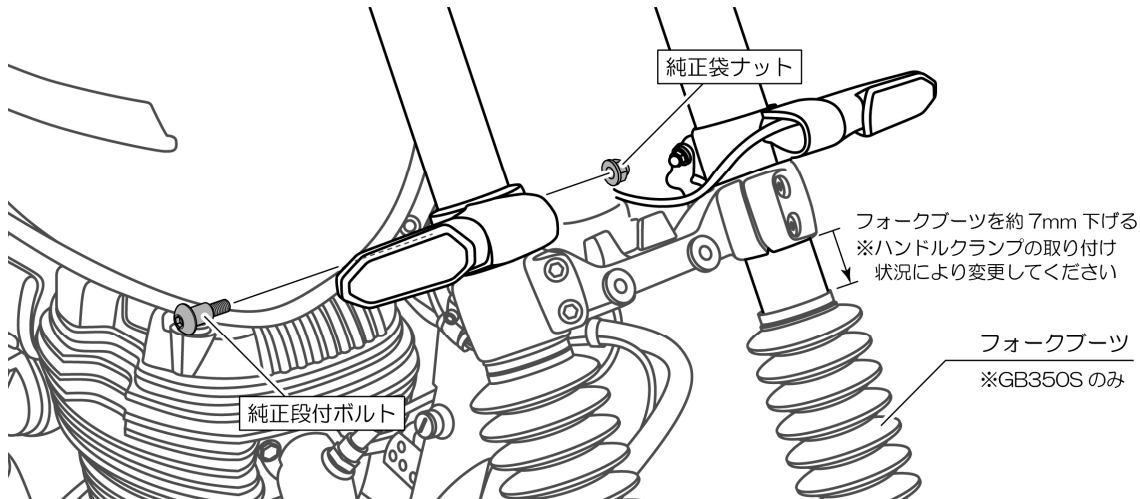
16. トップブリッジの仮組み

- イラストを参考にトップブリッジ ASSY を車両へ仮組します。
- ※トップブリッジがロックナットへ接触するまで、確実に差し込んでください。またステムナットは仮組みの状態にします。



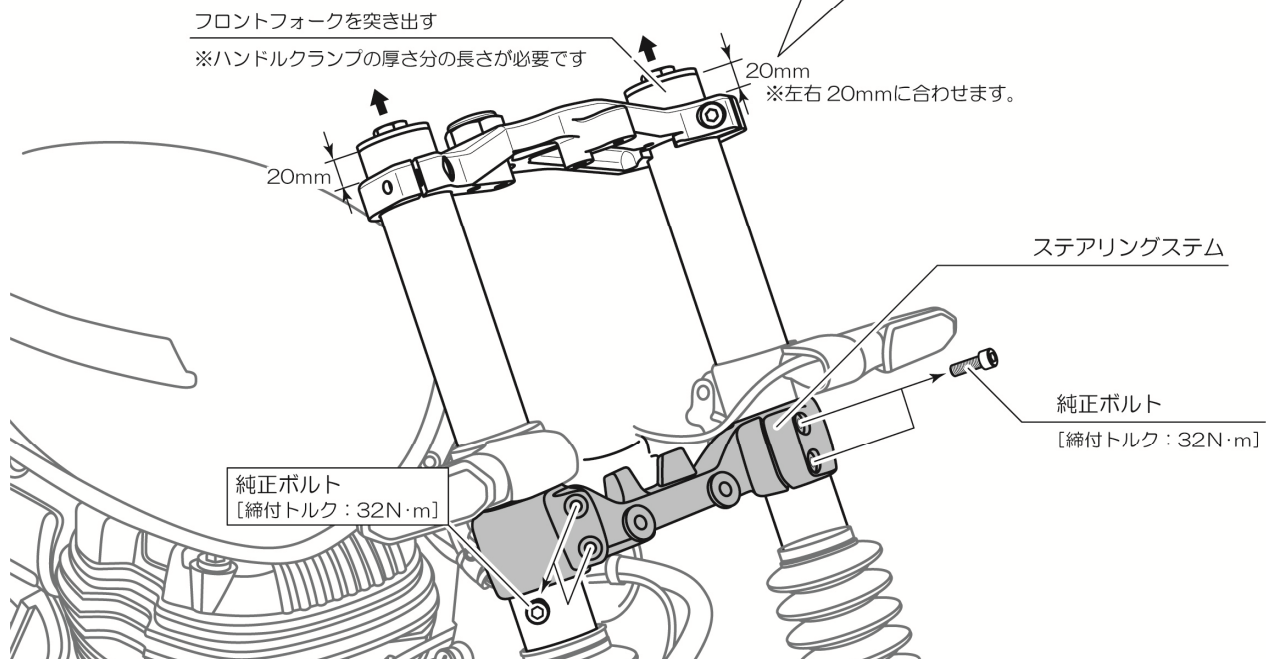
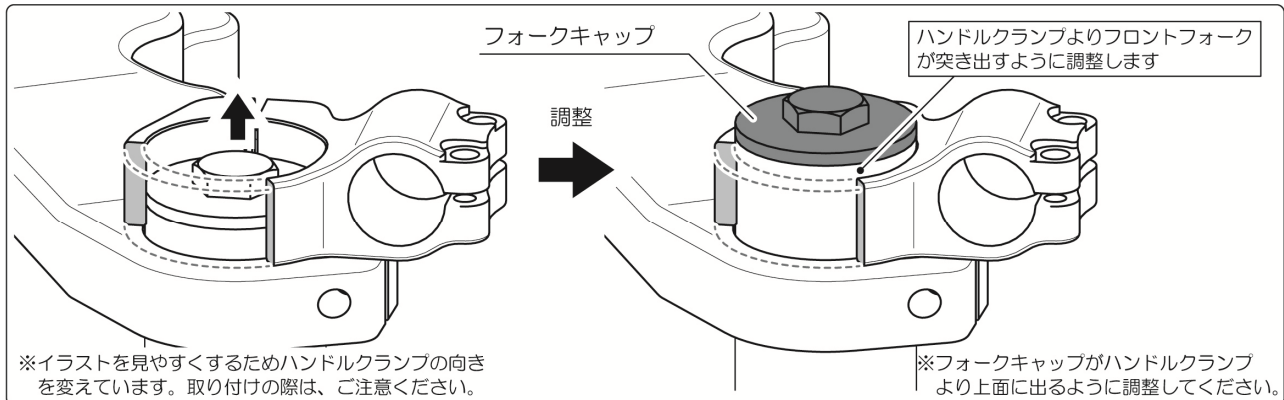
17. ウィンカーを固定している純正段付ボルトと純正袋ナットの取り外し

- 左右のウィンカーを固定している純正段付ボルトと純正袋ナットを外します。
- 「GB350S」の場合は左右のフォークブーツを約7mm下げてください。
※ハンドルクランプの取り付け状況により変更してください



18. ステアリングシステムとフロントフォークの位置調整

- ステアリングシステムの純正ボルト（4本）を外します。
※ボルトを4本外すと、フロント側が一気にズリ落ち、車両がバランスを崩し転倒にいたる可能性があります。作業は慎重に行なってください。またズリ落ち防止のために、エンジン下側のフレーム部へ2、3cm程度の隙間が空く台座を置くなどしてください。
- イラストを参考にトップブリッジ上面よりフロントフォークが20mm高くなるようにフロントフォークを上へずらします。
必ず左右の高さを揃えてください。
※本作業はハンドルクランプの厚み分だけフロントフォークを上方へずらす指示になります。
- フロントフォークの突き出し調整後は直ぐにステアリングシステム固定の純正ボルト（4本）を締め付けます。
- ウィンカーの位置を調整して純正段付ボルトと純正袋ナットで固定します。
※GB350Sの場合はフォークブーツも固定してください。



19. トップブリッジの固定とハンドルクランプの取り付け

- ⑩キャップボルト (M8×25) で締め付けて、①トップブリッジを固定します。
- ハンドルを右にきってフロント側を固定します。
- ステムナットを所定トルクで締め付けて固定し、トップブリッジを真っ直ぐに戻します。

⑩キャップボルト (M8×25)

[締め付トルク : 27N・m]

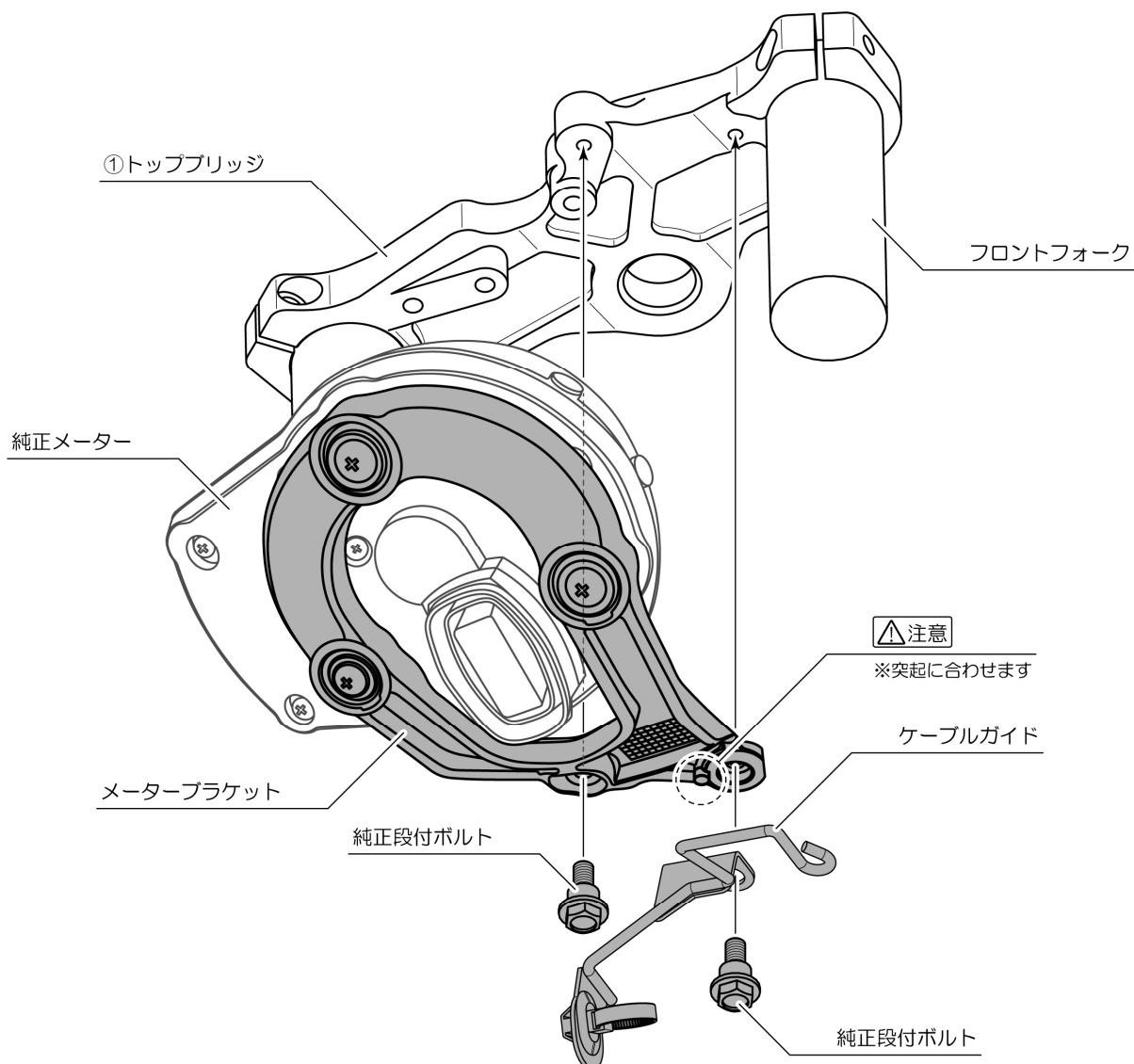
ステムナット

[締め付トルク : 103N・m]

※締め付けの前にハンドルを右にきって固定しておきます

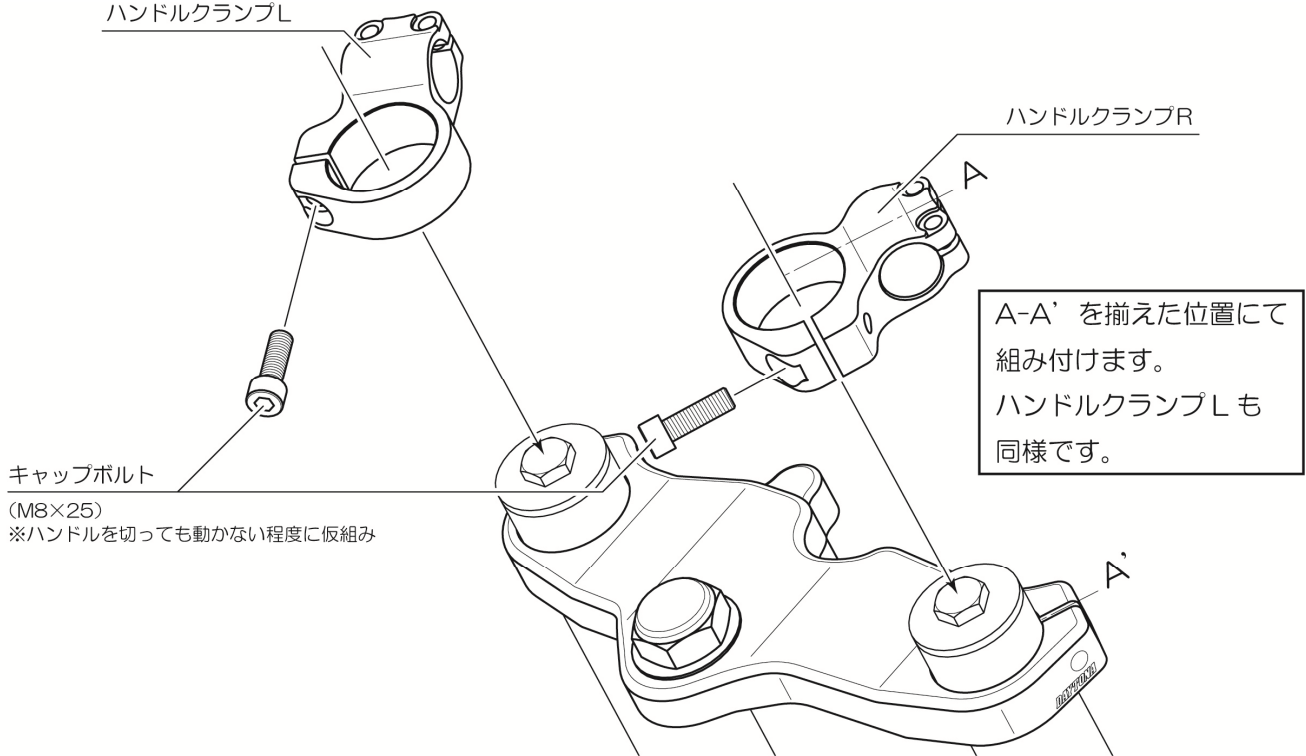
20. 純正メーターの取り付け

- イラストを参考に①トップブリッジの裏側にメーターブラケットとケーブルガイドを取り付けます。
- ※メーターブラケット裏にある突起部にケーブルガイドを合わせて取り付けてください。



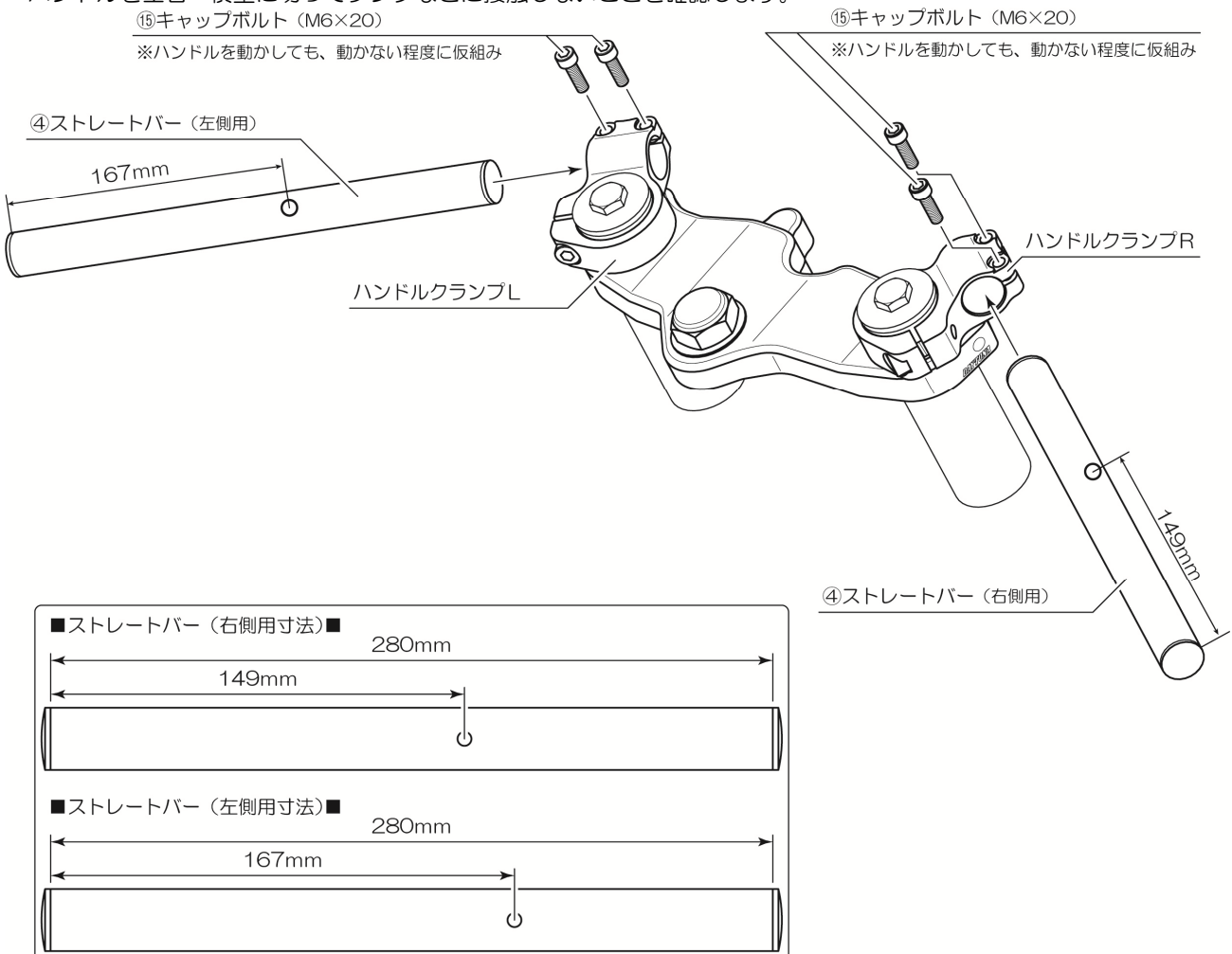
21. ハンドルクランプの仮組み

- フロントフォークに②ハンドルクランプLと③ハンドルクランプRを⑩キャップボルト (M8×25) を使用してA-A'のラインを揃えて仮組みします。仮組みは左右にハンドルを動かしても動かない程度に締め付けてください。



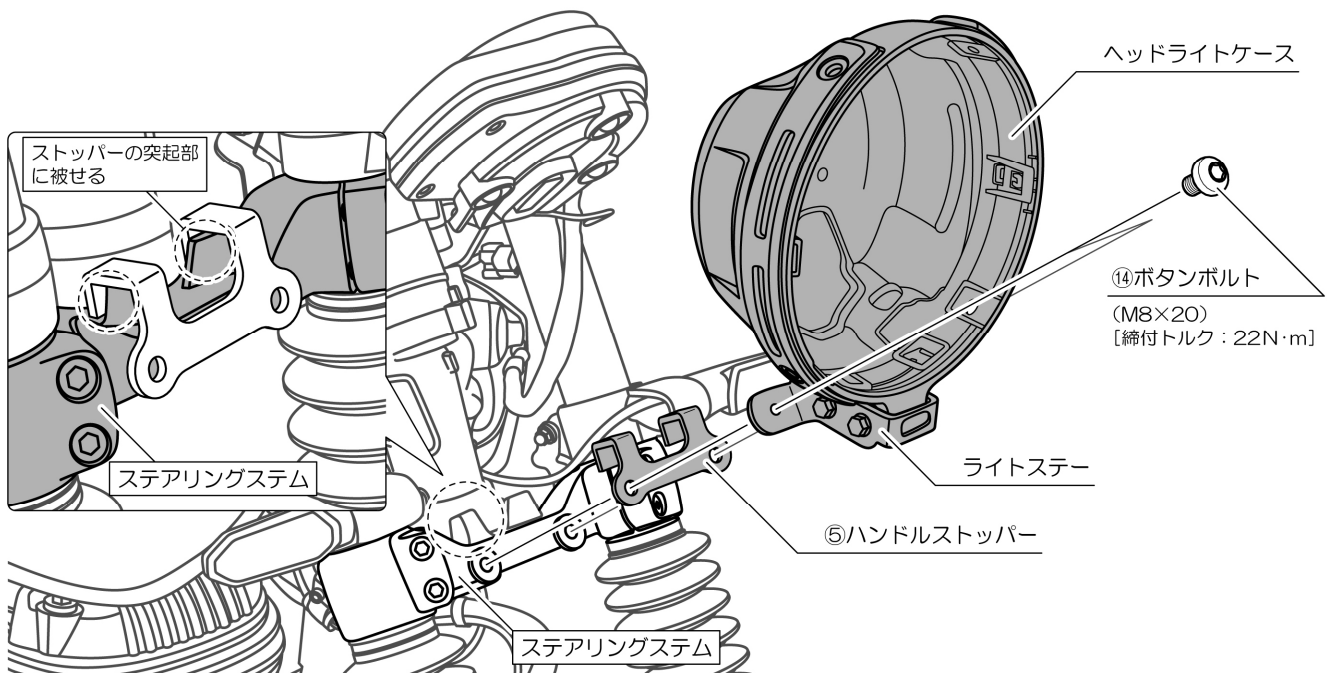
22. ストレートバーの仮組み

- 左右のハンドルクランプに④ストレートバーを⑮キャップボルト (M6×20) を使用して取り付けます。
※④ストレートバーは右側用と左側用で専用となります。下イラストを参考に判別し、取り付けてください。
- ハンドルを左右へ慎重に切ってタンクなどに接触しないことを確認します。



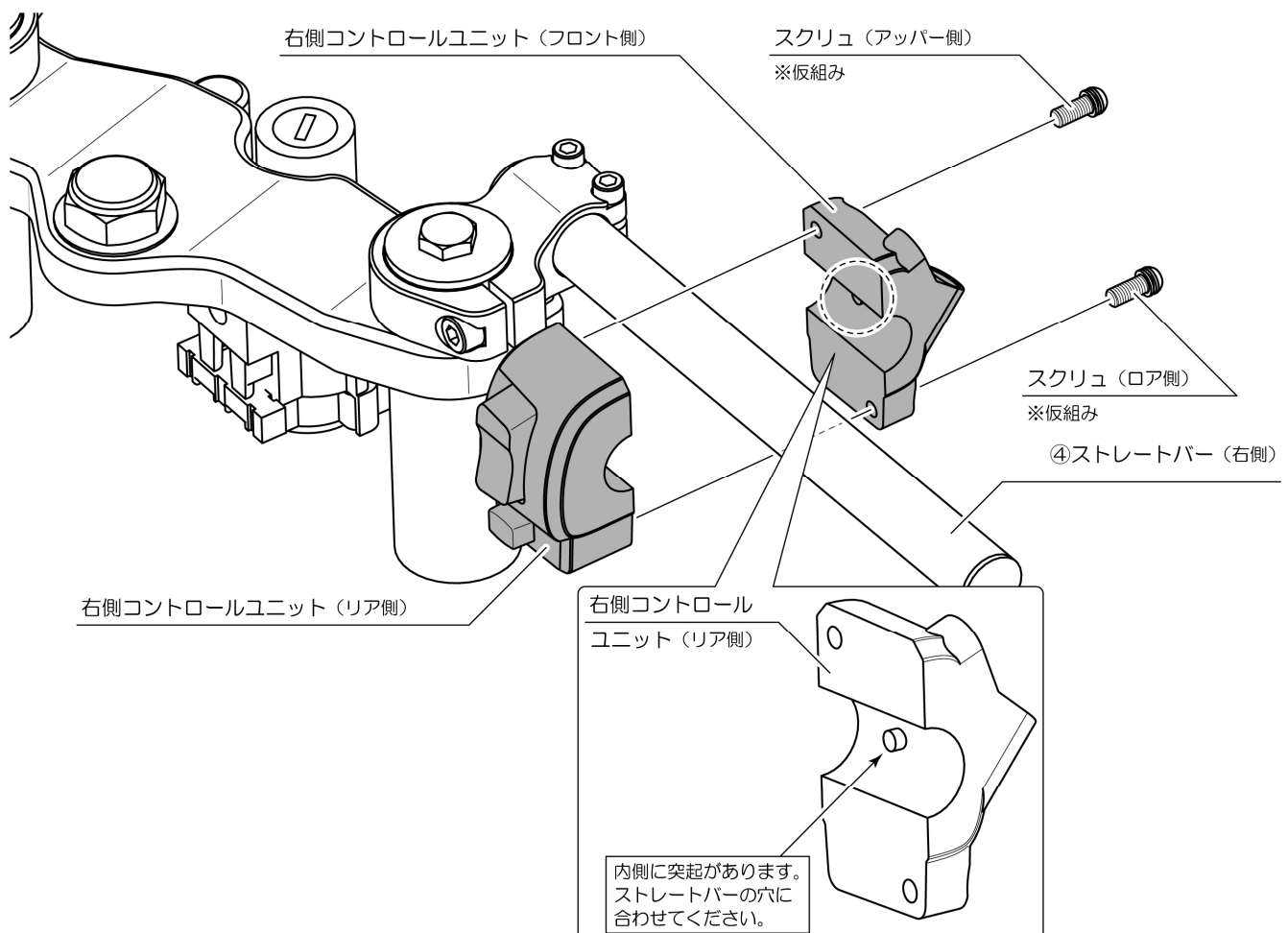
23. ハンドルストッパーとヘッドライトケースの取り付け

- イラストを参考に⑤ハンドルストッパーをステアリングシステムとライトステーの間にはさみ⑭ボタンボルト (M8×20) で締め付けて固定します。



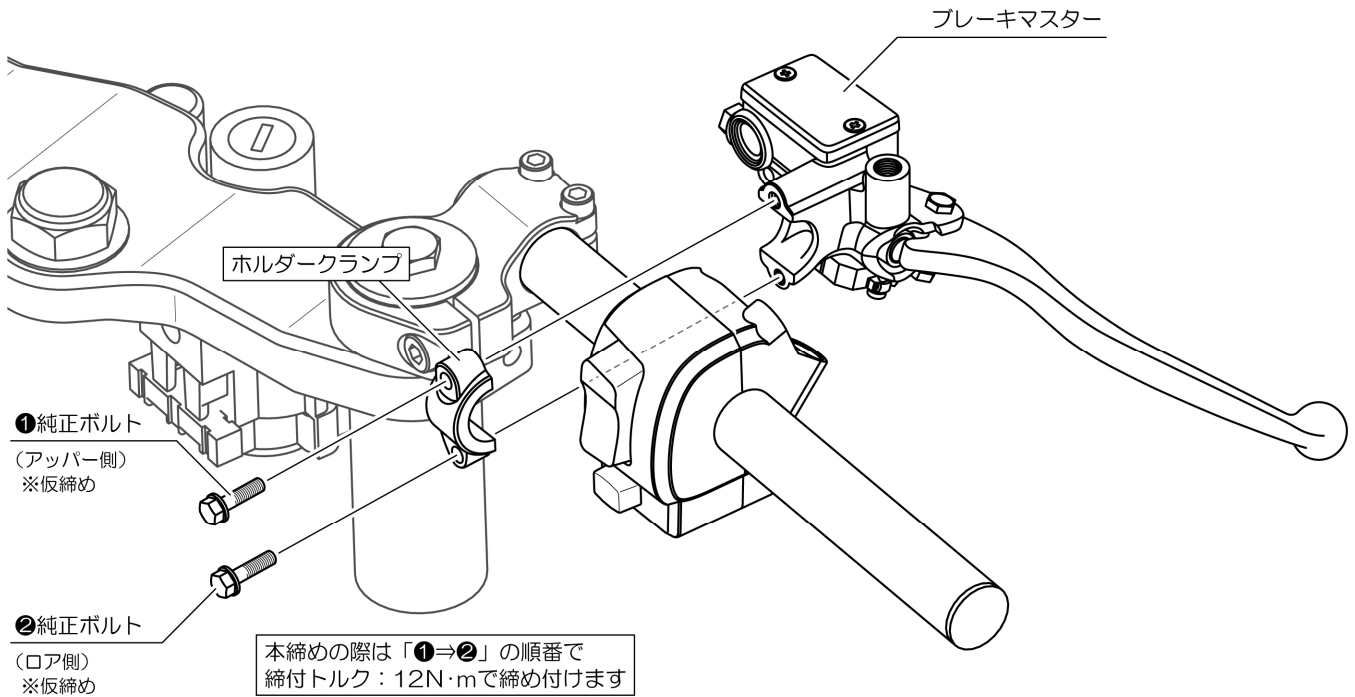
24. 右側コントロールユニットの仮組み

- イラストを参考に右側コントロールユニットを④ストレートバー (右側) に仮組みします。右側コントロールユニット内側の突起と④ストレートバーの穴の位置を合わせて仮組みしてください。



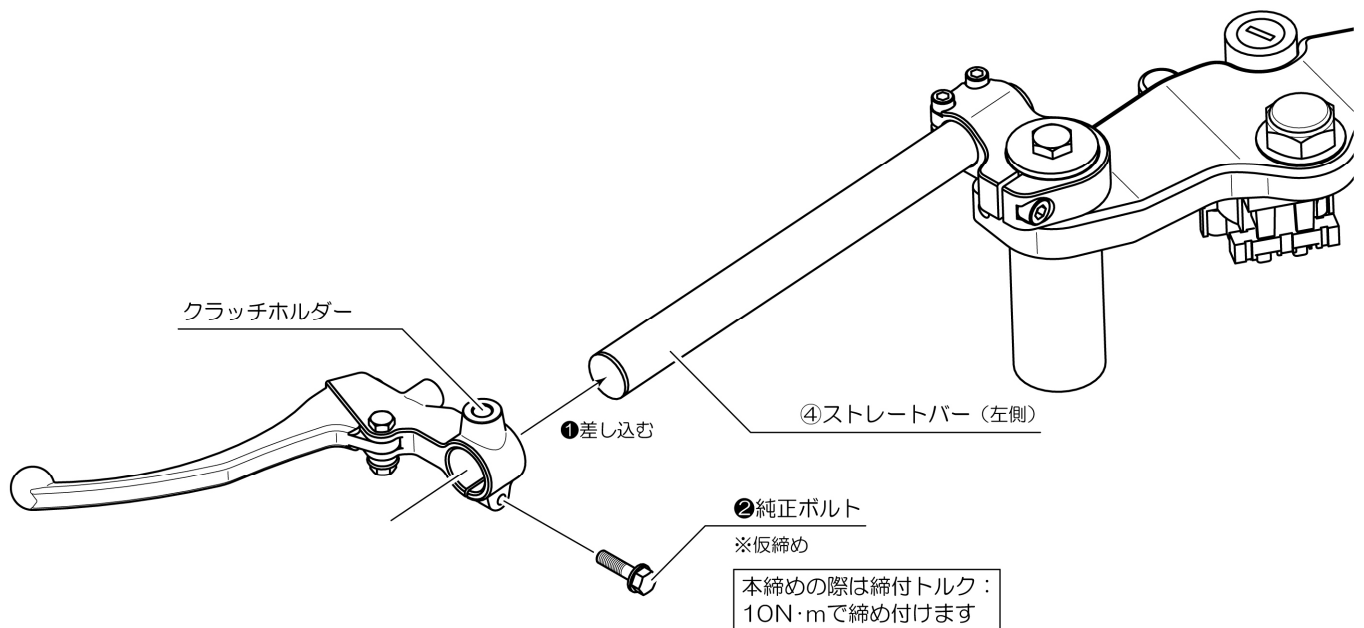
25. ブレーキマスターの仮組み

- ・イラストを参考にブレーキマスターとクランプホルダーを純正ボルトで仮組みします。
- ※手順 28 の際に「①⇒②」の順番で締付トルク 12N・m で本締めしてください。



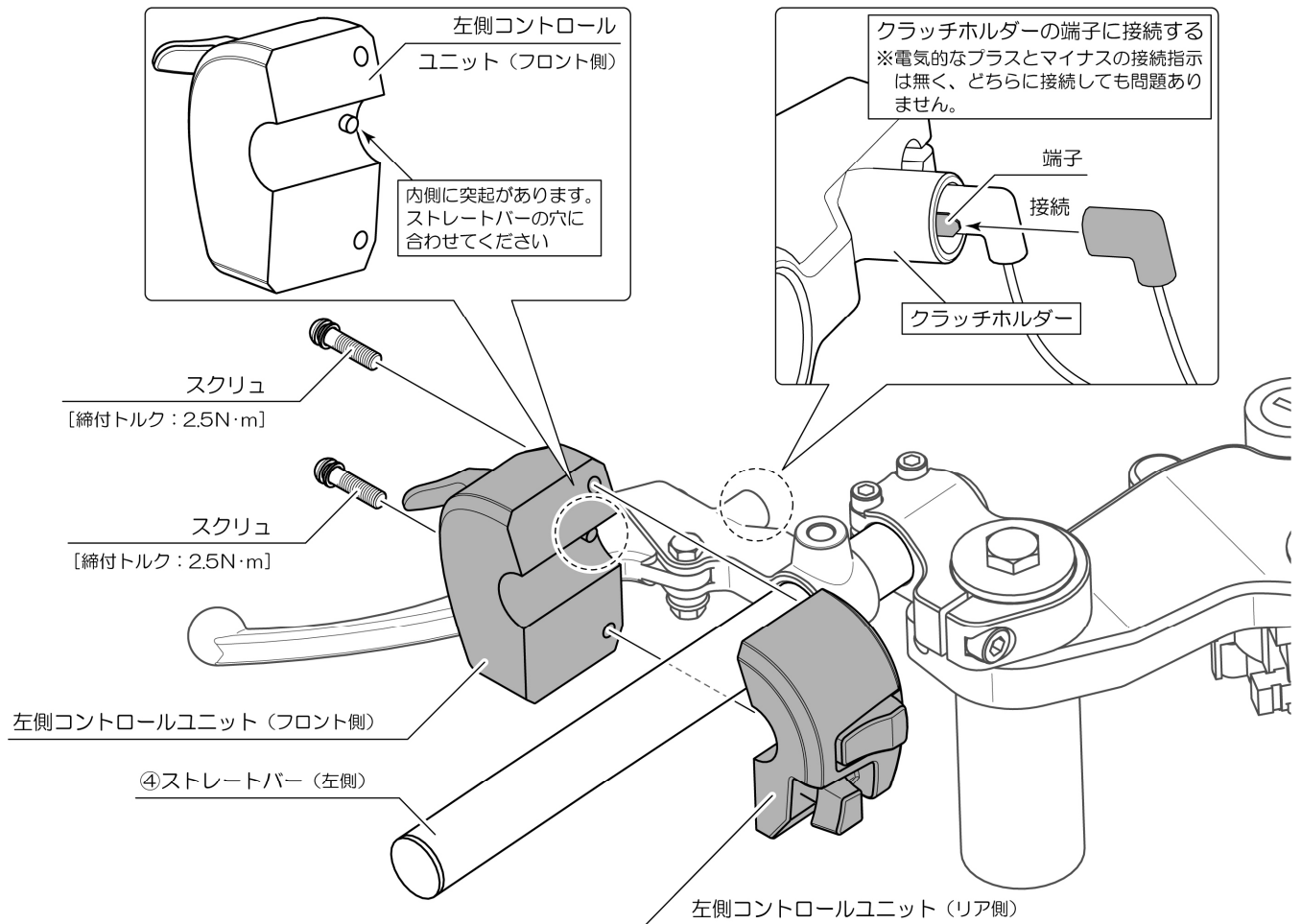
26. クラッチホルダーの仮組み

- ・イラストを参考にクラッチホルダーを仮組みします。
- ※クラッチホルダーを固定する純正ボルトは手順 28 の際に締付トルク 10N・m で締め付けてください



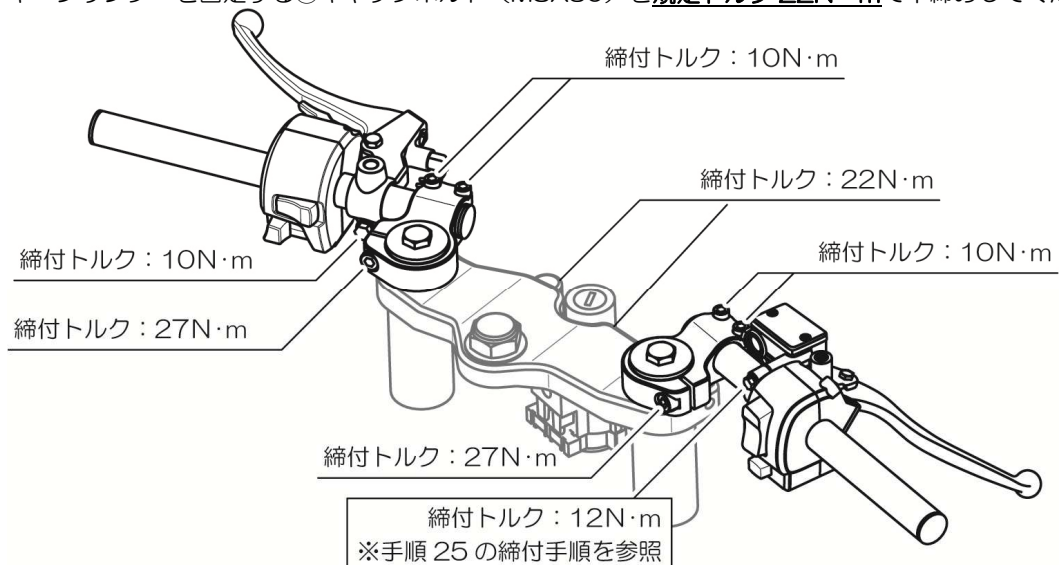
27. 左側コントロールユニットの取り付け

- イラストを参考に左側コントロールユニットを④ストレートバー（左側）に取り付けします。左側コントロールユニット内側の突起と④ストレートバーの穴の位置を合わせて仮組みしてください。またクラッチホルダーが接触する場合は位置を調整してください。
- クラッチホルダーの端子にハーネスを接続します。



28. ハンドルと各パーツの向きと位置の調整

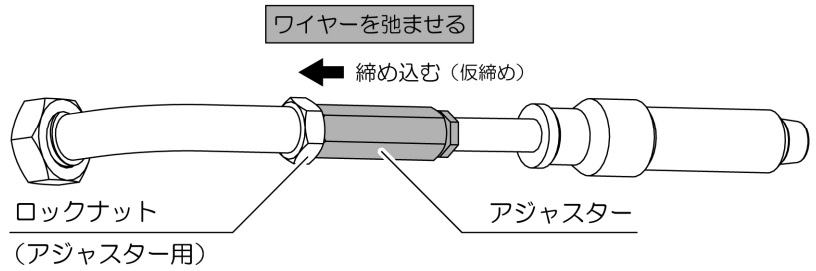
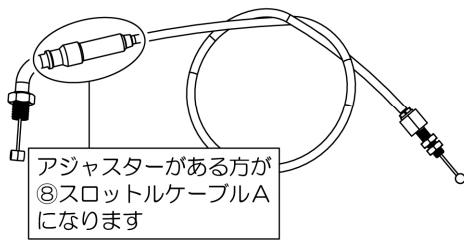
- ハンドルクランプの固定を緩め、ハンドル幅をお好みで右図の位置より、片側 10mm程度狭くできます。
- ブレーキマスター、クラッチホルダーの向きや位置を調整します。
- ハンドルを慎重にゆっくりと左右へ切り、タンクなどに接触がないことを確認します。タンクとコントロールスイッチの間隔は 10mm以上確保してください。
※接触する場合は、接触しないように調整してください。
- 調整位置が決まりましたら、ハンドルクランプやストレートバー、ブレーキマスター、クラッチホルダーを規定トルクで締め付けます。
- ハンドルを左いっぱい切り、ハンドルのロックができるかどうか確認してください。問題ない場合はハンドルロックをした状態で、キーシリンダーを固定する⑰キャップボルト（M8X30）を**規定トルク 22N・m**で本締めしてください。



29. スロットルケーブルの取り付け (1)

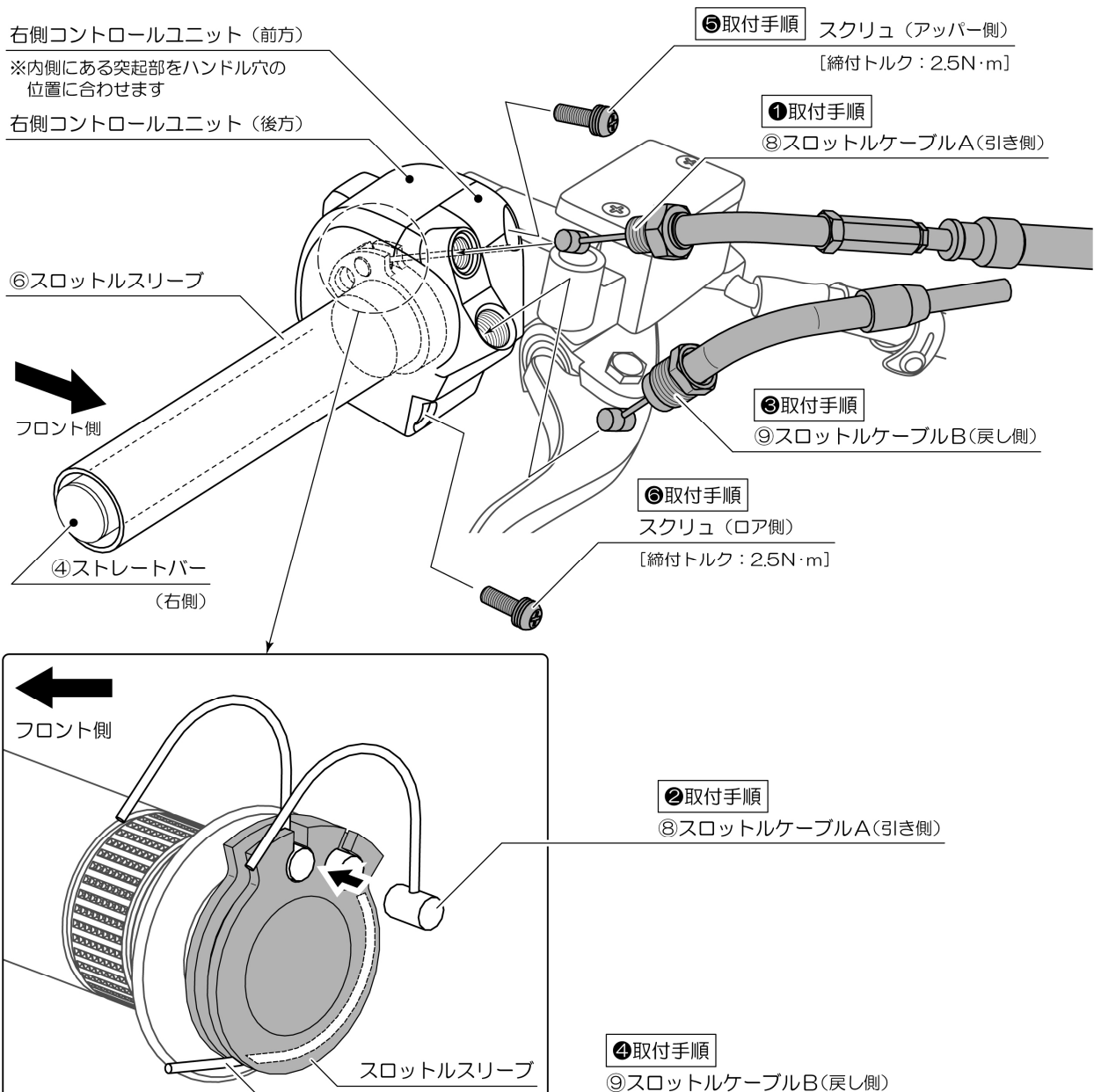
- ・⑧スロットルケーブルA (引き側) のアジャスターをイラストの位置まで仮締めしワイヤーを弛ませます。

⑧スロットルケーブルA (引き側)



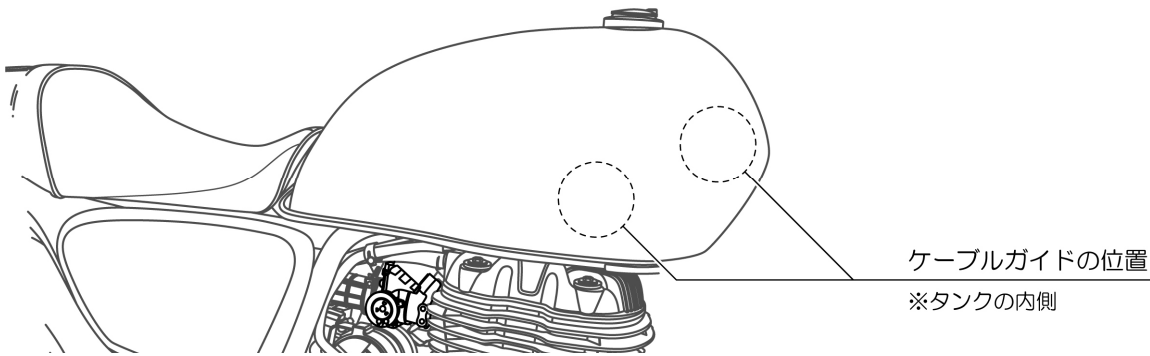
30. スロットルケーブルの取り付け (2)

- ・仮組みした右側コントロールユニットのスクリュを外し、分割できるようにします。
- ・イラストを参考に右側コントロールユニット (前方) に⑧スロットルケーブルA (引き側) を根元まで締め込み、ケーブルが動かせる程度に仮組みします。
- ・⑥スロットルスリーブを④ストレートバー (右側) に差し込み⑧スロットルケーブルA (引き側) のワイヤーを取り付けます。
- ・⑨スロットルケーブルB (戻し側) を右側コントロールユニット (前方) に締め込み仮組みします。
- ・⑥スロットルスリーブに⑨スロットルケーブルB (戻し側) のワイヤーを取り付けます。
- ・右側コントロールユニットと⑥スロットルスリーブを組み合わせ、④ストレートバーに取り付けます。
- ※右側コントロールユニット (前方) の内側に突起があります。④ストレートバーの穴位置に合わせて取り付けてください。
- ・スクリュ (アッパー側) を **締付トルク 2.5N・m** で締め付けます。同様に、スクリュ (ロア側) も締め付けます。
- ・⑥スロットルスリーブが引きと戻しがスムーズに動くことを確認します。



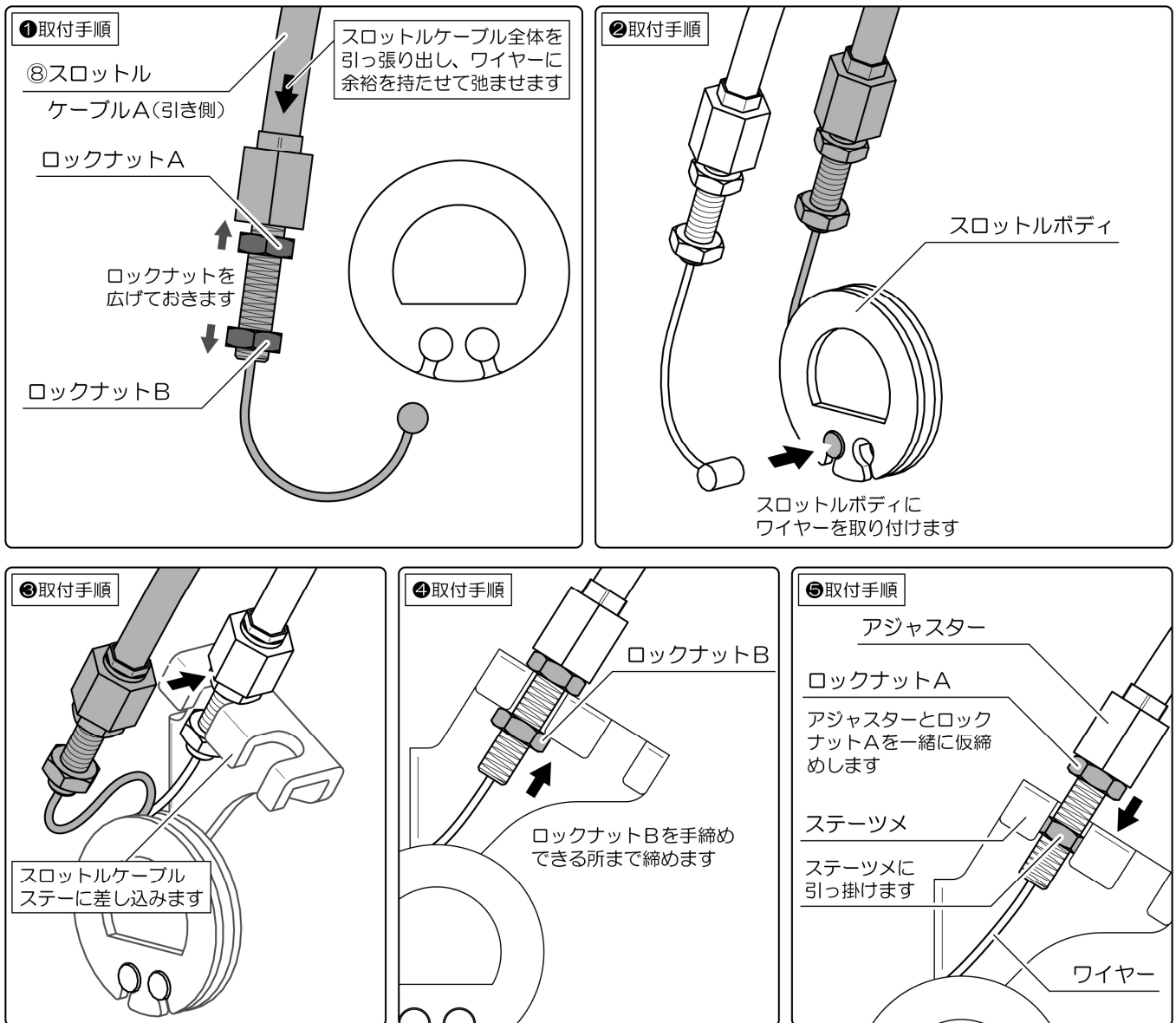
31. スロットルケーブルの取り付け (3)

- 純正タンク内側の2ヶ所にケーブルガイドがあります。スロットルケーブルを無理がない様に通します。
※イラスト丸部分にあります。参考にして作業を行なってください。



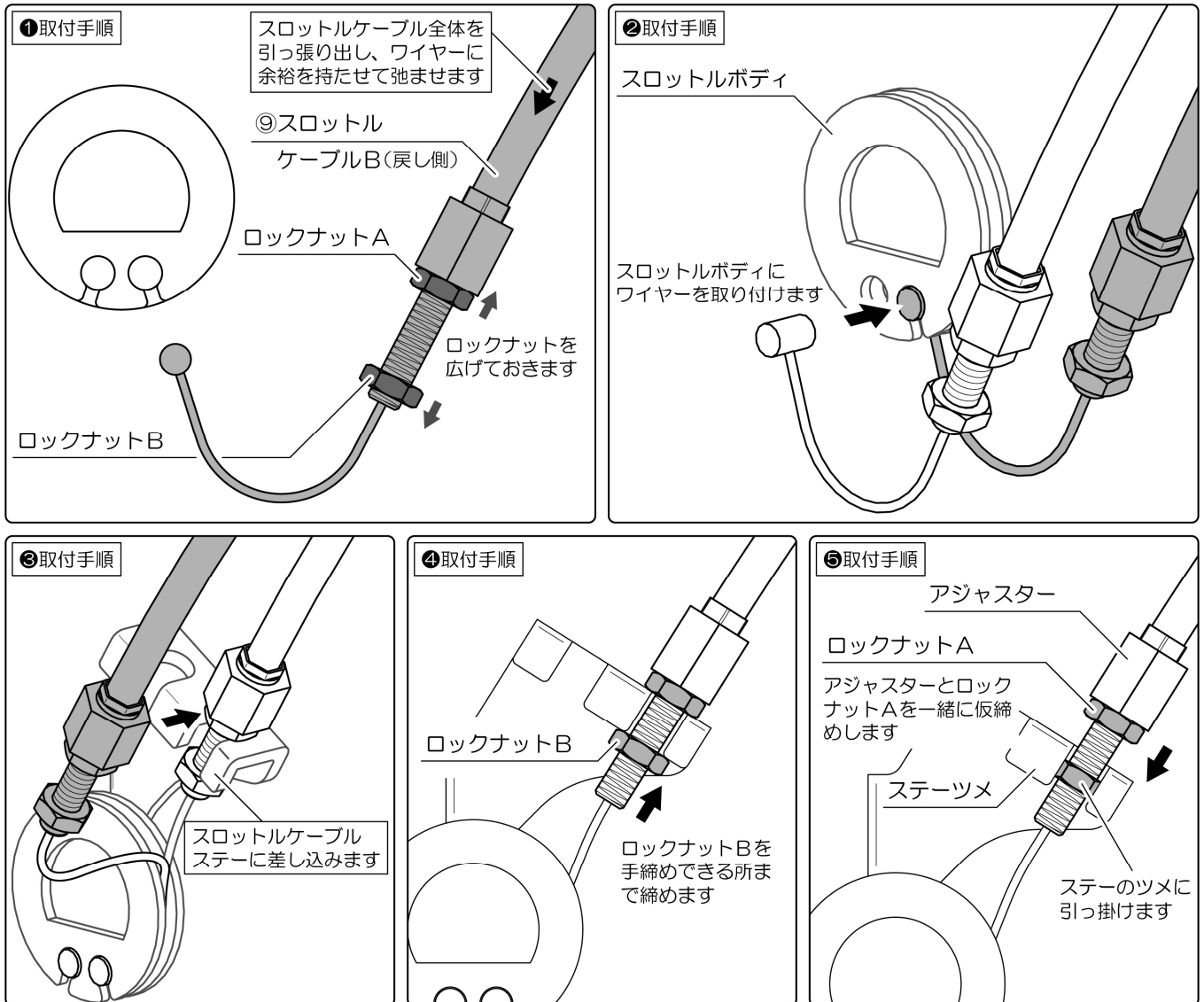
32. スロットルケーブルの取り付け (4)

- イラストを参考に⑧スロットルケーブルA (引き側) をスロットルボディに取り付けます。
※この手順では仮締めになります。手順 34 でワイヤーの調整を行なった後に本締めします。



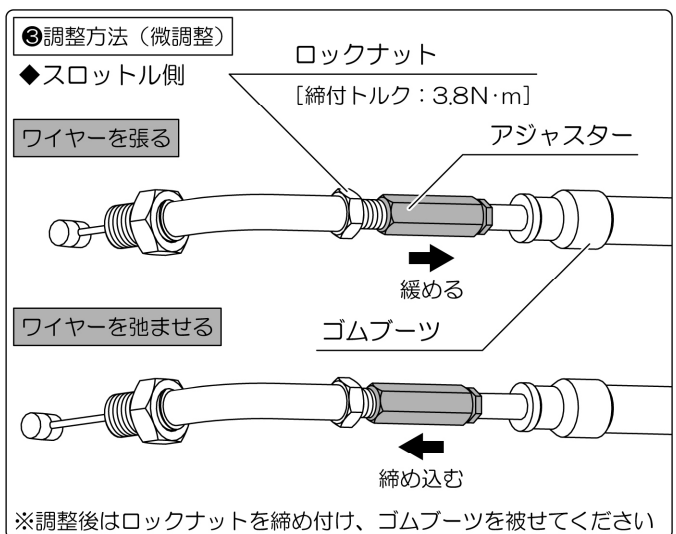
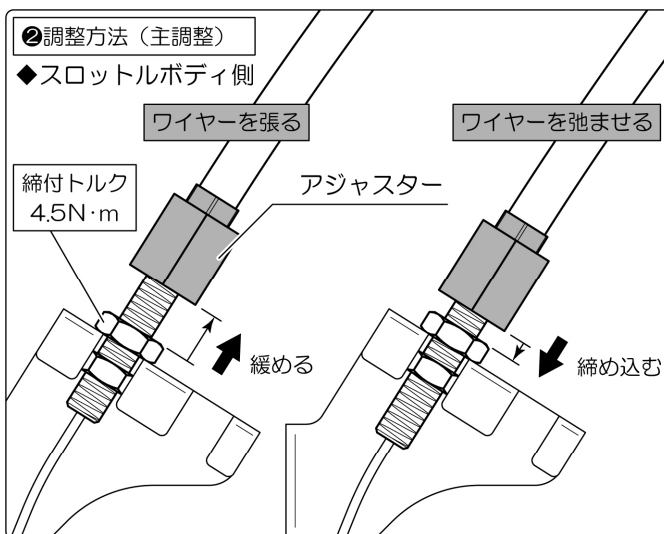
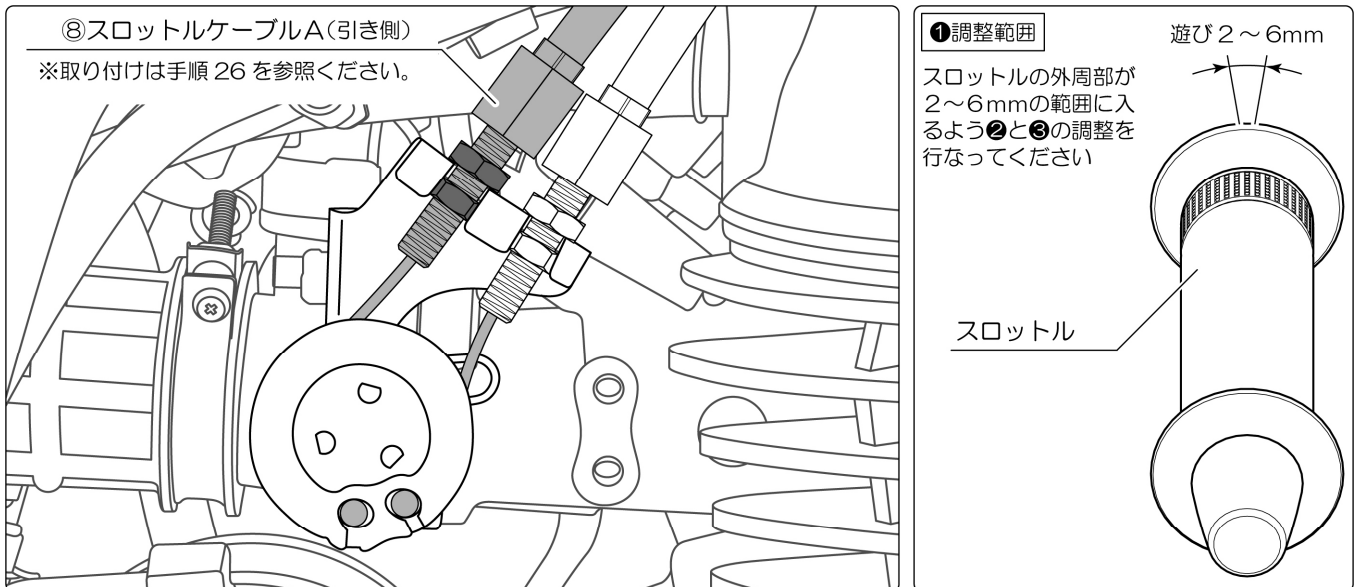
33. スロットルケーブルの取り付け (5)

- イラストを参考に㊸スロットルケーブルB (戻し側) をスロットルボディに取り付けます。
- ※この手順では仮締めになります。手順 34 でワイヤーの調整を行なった後に本締めします。



34. スロットルケーブルの取り付け (6)

- ⑧スロットルケーブルA (引き側) を調整して、スロットル側の遊びが「2~6mm」程度になるように調整してください。主調整はスロットルボディ側で行ない、微調整をスロットル側で調整します。
 - 調整後はスロットル側のロックナットを所定トルクで締め付けゴムブーツをかぶせます。
 - イラストの②調整方法を参考に⑨スロットルケーブル (戻り側) を調整します。
- ※戻し側のスロットルケーブルはスロットルの戻しをスムーズにするためのケーブルです。張り過ぎず、弛み過ぎず適度に調整してください。
- スロットルの遊び調整が完了した後は、スロットルケーブル (引き側&戻し側) のロックナットAを所定トルクで締め付けて固定します。



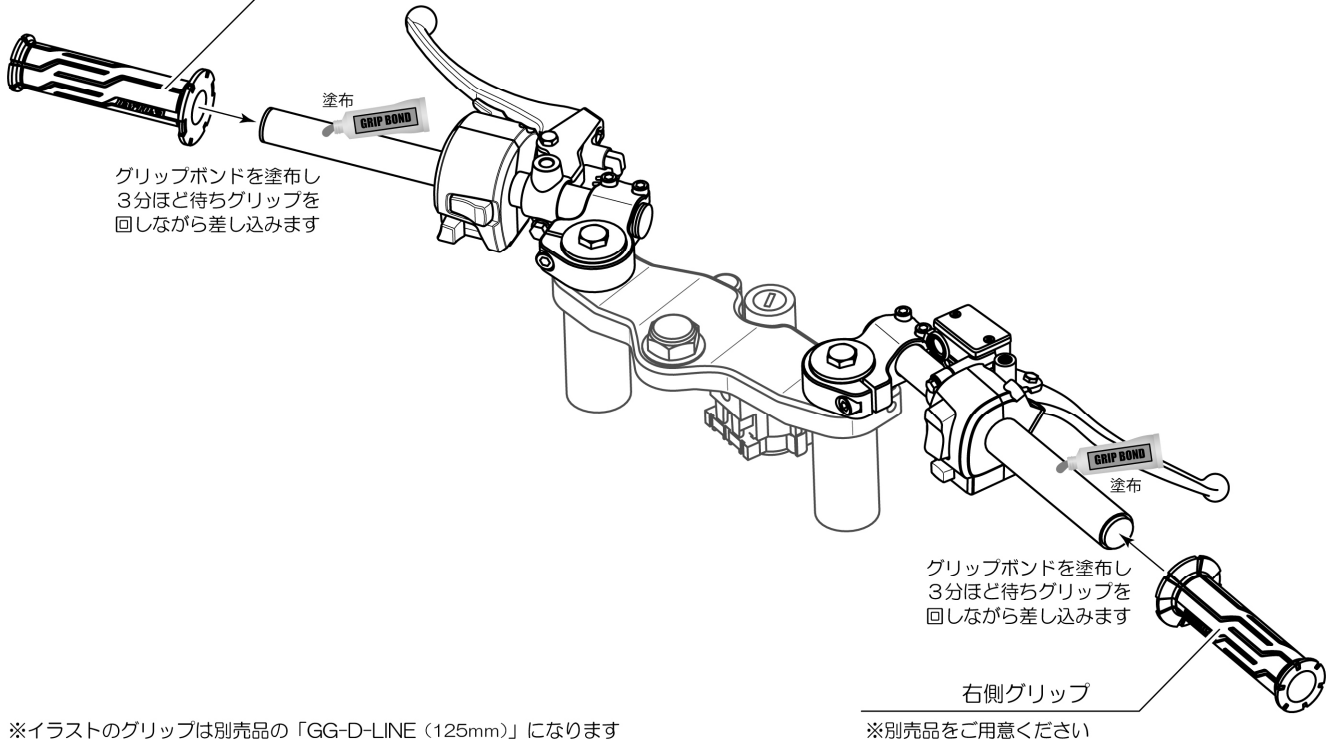
- ※ワイヤーを張ることで、スロットルの遊び幅が狭くなります。またワイヤーを弛ませることで、スロットルの遊び幅が広がります
- ※⑨スロットルケーブル (戻り側) はスロットルの戻しをスムーズに行なうためのワイヤーになります。ワイヤーの長さが張り過ぎず、弛み過ぎず、適度な長さになるように調整してください。またスロットル側に調整するところはありません。スロットルボディ側で調整を行なってください。

35. グリップの取り付け

- スロットルスリーブと④ストレートバー（左側）、グリップ内側の接着面を清掃と脱脂を行ない乾燥させます。
- 接着面にグリップボンドを塗布し、3～5分待ちグリップ回しながら取り付けます。
※グリップボンドの付け過ぎに注意ください。
- 約1時間ほど接着剤を乾燥させます。
※接着剤の実用可能な硬度に固まる時間は、ご使用のグリップボンドにより異なります。ご使用の商品の指示に従ってください。
※グリップが回って動いてしまう場合などには、ワイヤリングしてグリップを固定してください。

◇推奨グリップ寸法
Φ22.2用/長さ 125mm

左側グリップ
※別売品をご用意ください

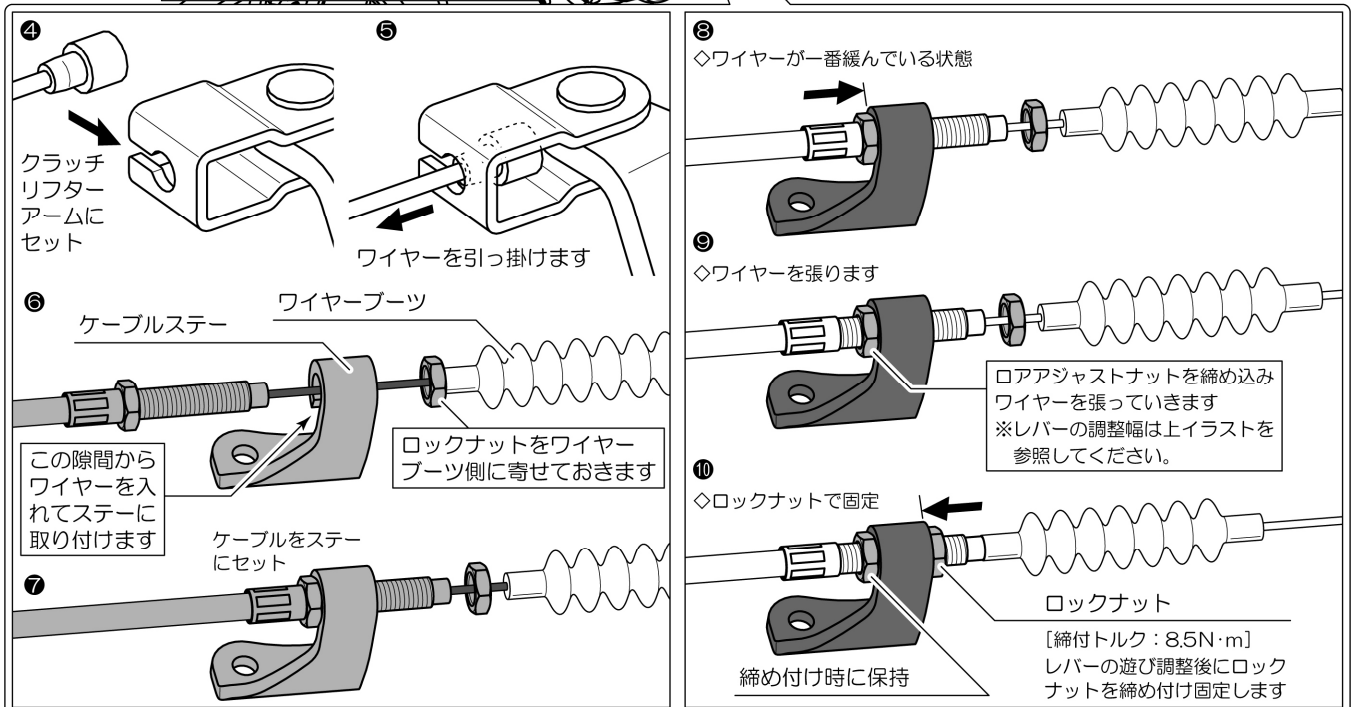
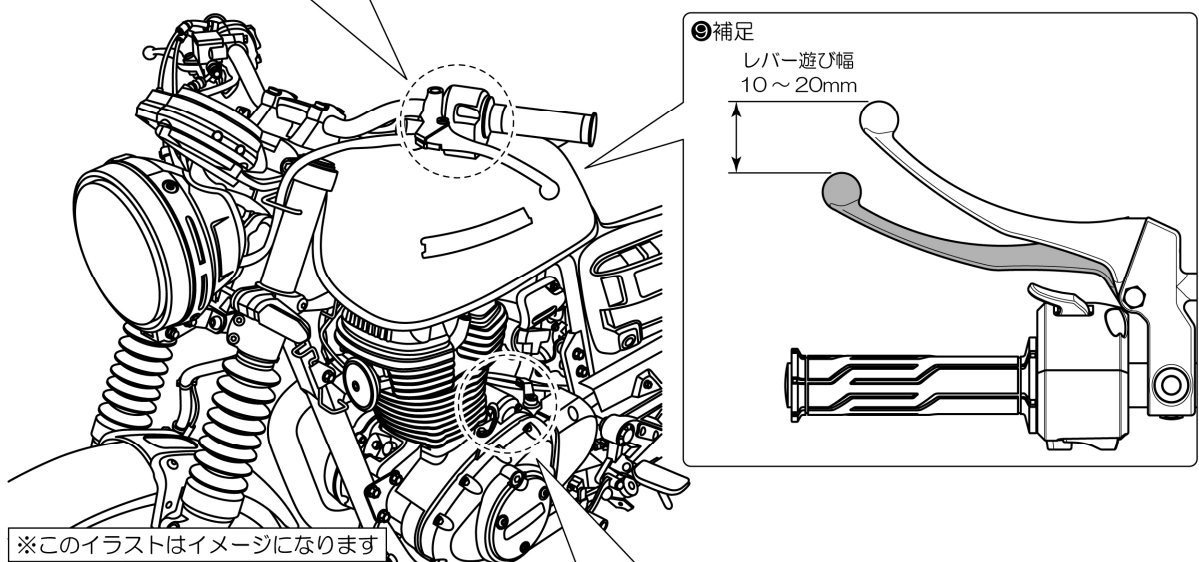
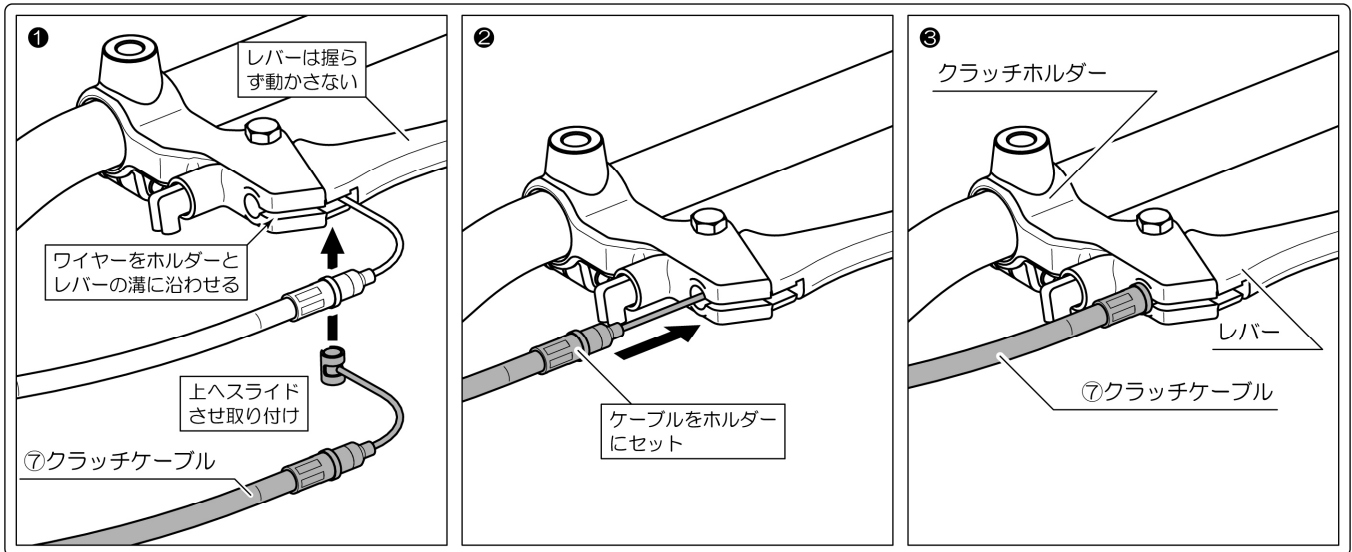


※イラストのグリップは別売品の「GG-D-LINE (125mm)」になります

36. クラッチケーブルの取り付け (1)

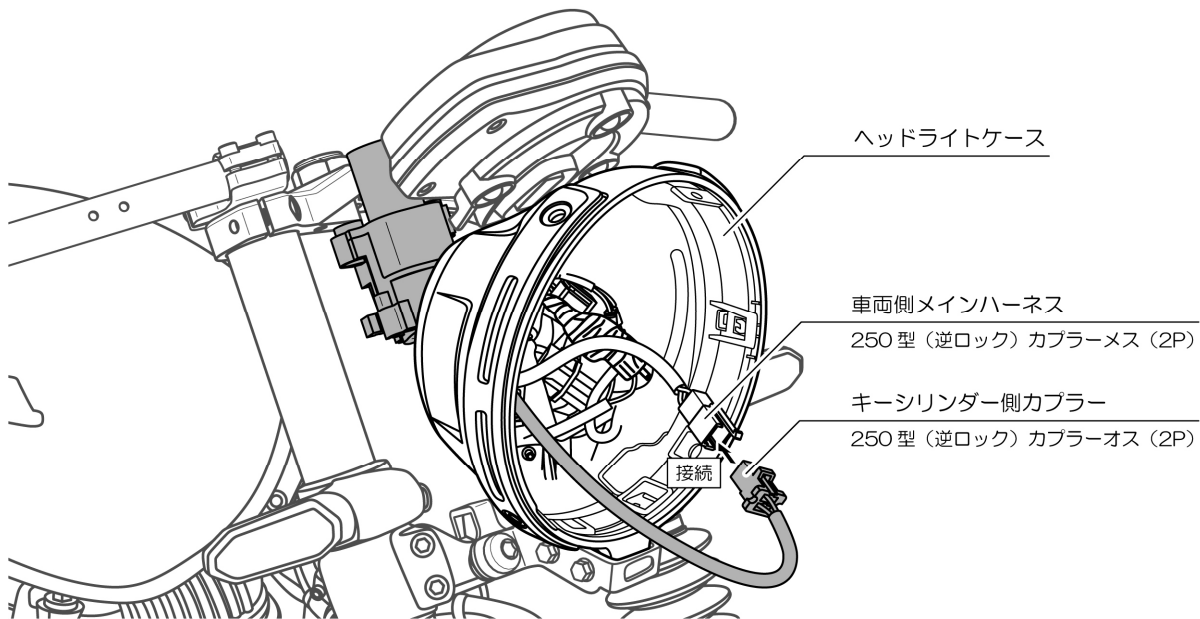
・イラストの手順①～⑩を参考に⑦クラッチワイヤーを取り付けます。

※レバーの遊び幅は、レバー先端が 10～20mm程度になるよう調整してください。



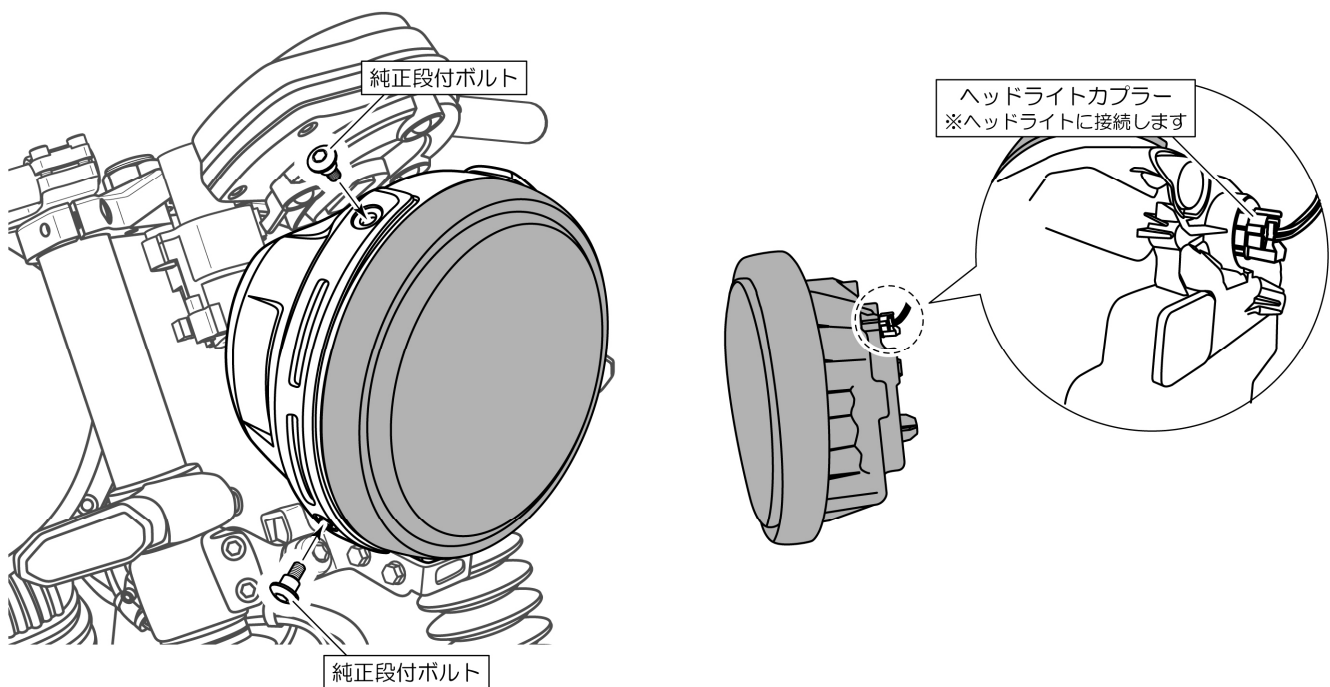
35. キーシリンダーのカプラー接続

- イラストを参考にキーシリンダーの配線をヘッドライトケース内に通し、メインハーネス側の2極カプラーに接続します。



36. ヘッドライトの取り付け

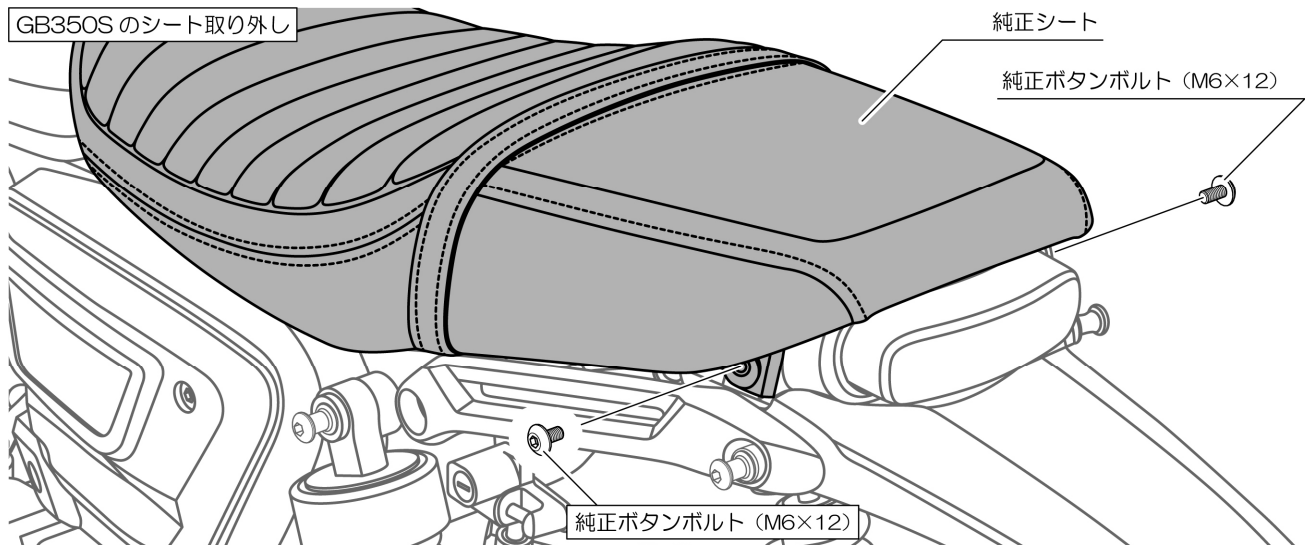
- ヘッドライトにヘッドライトカプラーを接続します。
- GB350S の場合はヘッドライトをヘッドライトケースに純正段付ボルト（4本）、GB350 の場合は純正段付きボルト（2本）を使用して取り付けします。



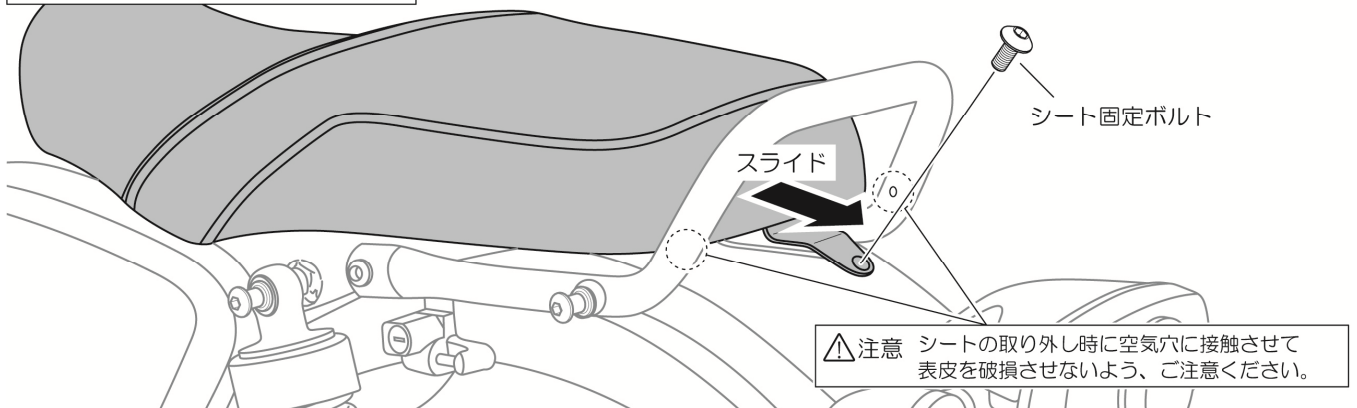
37. 純正シートの取り外し

- 純正シート左右にある純正ボタンボルトを外し、純正シートを取り外します。
※GB350の場合はイラストを参考に表皮の破れに注意して外してください。

GB350Sのシート取り外し

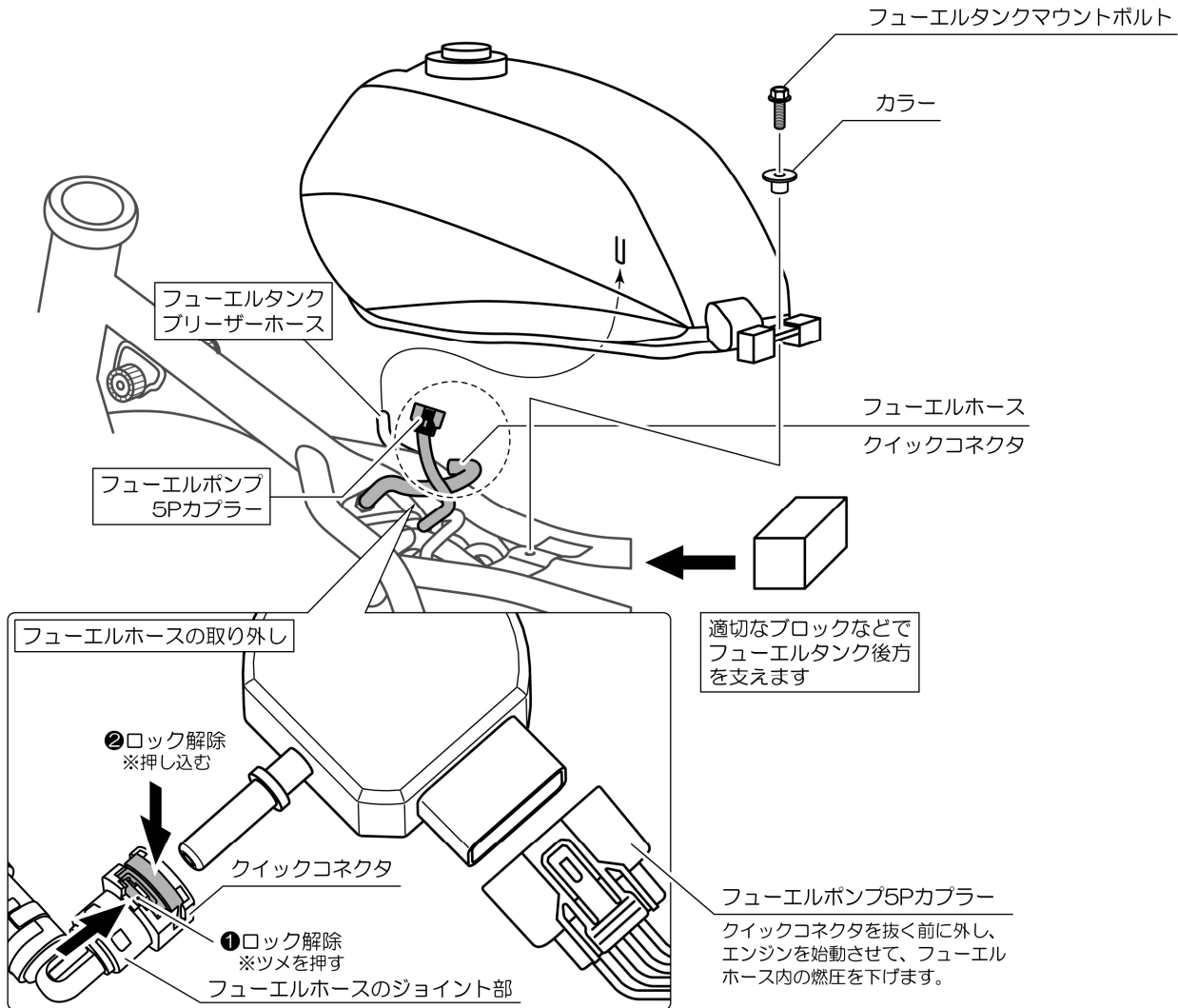


「GB350のシート取り外しの注意点」



38. フューエルタンクの取り外し [フューエルタンク = タンクで記載しております]

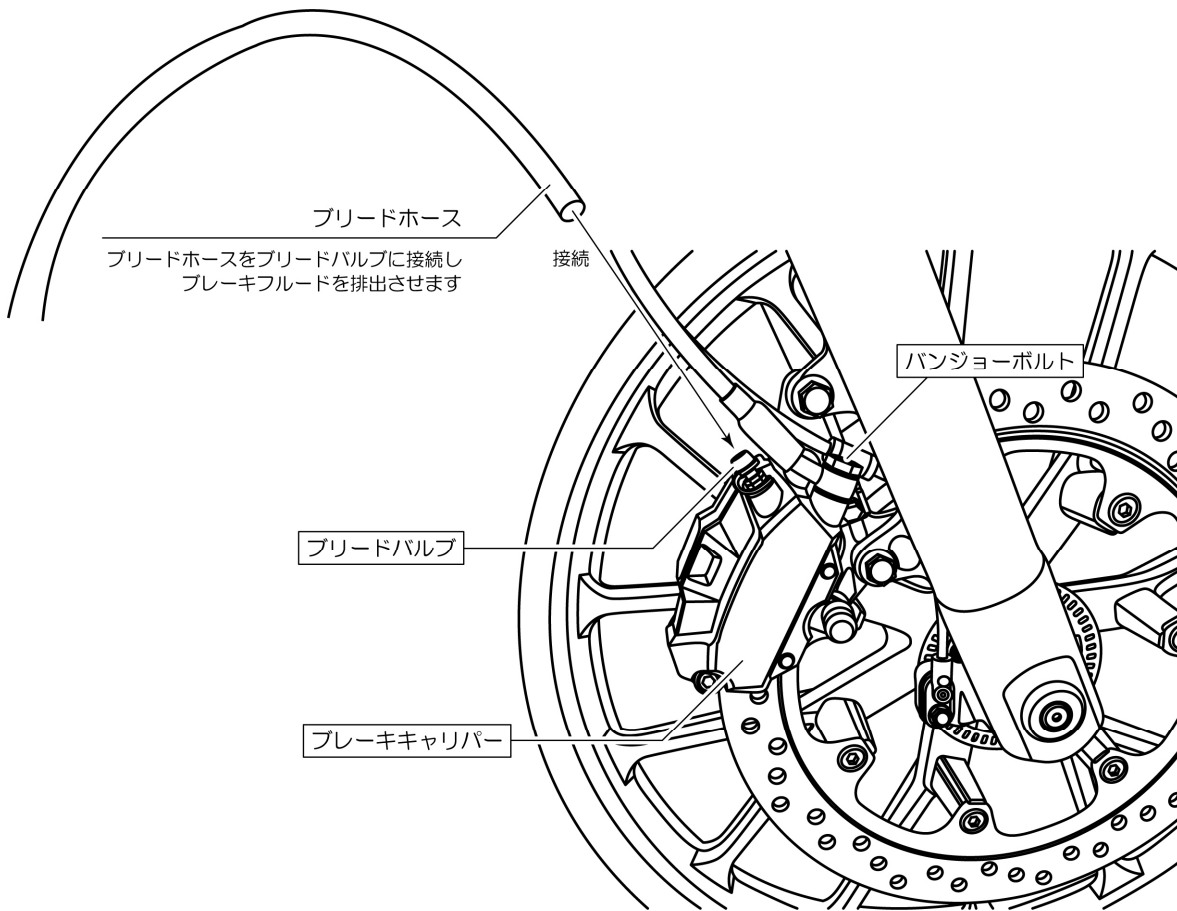
- タンクのフューエルタンクマウントボルトとカラーを外します。
- タンクを後方へズラし、適切なブロックを置いて支えます。
※タンク裏側のホースやハーネスなどを外すための作業ができる隙間を確保してください。
- タンク裏側にあるフューエルポンプ 5P カプラーの接続を外します。
- エンジンを始動させます。その後、アイドルリングが停止するまで動かしてフューエルホース内の燃圧を抜きます。
- エンジン停止後はメインキーを OFF にします。
- クイックコネクタ周辺をウエスなどで覆い、タンクのジョイント部よりクイックコネクタを抜きます。
※クイックコネクタはリテーナー（黄色い部品）のロックを解除し、リテーナーを押し下げた状態で引っ張るとジョイントから抜けます。
※クイックコネクタやジョイント部に異物やゴミなどが入らないように保護してください。またフューエルホースを無理にねじったり、曲げたりすると燃料漏れの原因となります。
- フューエルタンクブリーザーホースなどを取り外し、タンクを取り外します。



39. ブレーキフルードの抜き取り

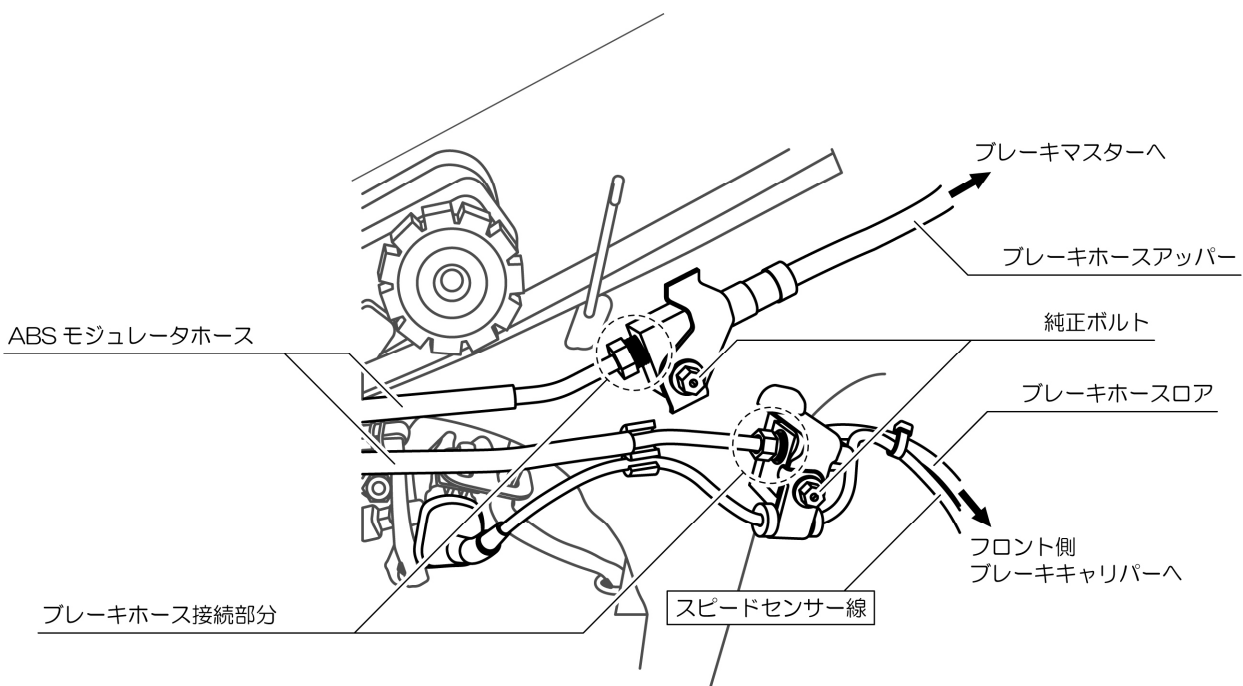
- 注意** ◇手順 39～42 の作業は、必ず車両メーカー発行のサービスマニュアルに従って作業を行ってください。
- ◇手順 39～42 の作業は、誤った取り付けや作業を行なった場合、ケガや重大な事故につながる恐れがあります。重要保安部品のため、必ず認証工場にご依頼ください。
- ◇ブレーキフルードが付着した部分は放置せず、作業が完了しだい水などで洗い流し乾燥させてください。放置すると付着部にダメージを負ってしまいます。
- ◆**作業の途中でメインキーを ON にした場合に ABS モジュールが作動してしまいます。本作業より手順 42 の作業完了まで必ずメインキーを OFF の状態で作業してください。**

- メインキーをOFFにし、キーを抜きます。
- リザーバタンクを水平に近づくようハンドルを切ります。
- ブリードホースをキブレーキャリパーのブリードバルブに接続します。
- ブリードホース先端にブレーキフルードの受けを置き、ブレーキフルードが排出されるようにします。
- リザーバタンクのスクリュとリザーバカバー、セットプレート、ダイヤフラムを取り外します。
- ブリードバルブを緩め、ブレーキレバーの操作をブレーキフルードがブリードホースから出なくなるまで繰り返します。
※排出したブレーキフルードは各自治体の処理方法に従って廃棄してください。



40. ブレーキホースの取り外し

- スピードセンサー線と純正ブレーキホースロアのワイヤークランプを取り外します。
- 純正ブレーキホースアップパー/ロアのバンジョーボルトを取り外します。
- ABS モジュレータホース接続部分の純正ボルトを外し、接続部分から緩めて取り外します。
※ブレーキホース接続部分をウエスなどで保護し、ブレーキフルードが垂れないように作業してください。



41. ブレーキホースの取り付け

- ⑩ブレーキホースアッパーをブレーキマスターへ⑫ブレーキホースガスケット（2枚）と純正バンジョーボルトを使用して取り付けます。
◇バンジョーボルト「締付トルク：34N・m」
- ABS モジュレータ側は、純正と同様に取り付けします。
◇ABS モジュレータジョイントナット「締付トルク：14N・m」
- ⑪ブレーキホースロアをブレーキキャリパーへ⑫ブレーキホースガスケット（2枚）と純正バンジョーボルトを使用して取り付けます。
◇バンジョーボルト「締付トルク：34N・m」
- ABS モジュレータ側は、純正と同様に取り付けします。
◇ABS モジュレータジョイントナット「締付トルク：14N・m」
- スピードセンサー線と⑪ブレーキホースロアを⑬結束バンドで適宜な位置で固定します。

42. ブレーキシステムのエア抜き

- リザーバータンクに適量のブレーキフルードを補充します。
- ブリードホースをブレーキキャリパーのブリードバルブに接続します。
- レバーを握ったまま、ブリードバルブを1/4回転緩めて数秒待って、ブリードバルブを閉じます。
- レバーを戻して、「握る⇒戻す⇒握る⇒戻す・・・」を数十回繰り返します。
- 再びレバーを握った状態で保持し、ブリードバルブを1/4回転緩め数秒待って、ブリードバルブを閉じます。
- リザーバータンクのブレーキフルードが減ったらつぎ足します。
- 以上の工程を繰り返し行ない、ブリードバルブから排出される気泡が無くなるまで行ないます。
- エア抜き完了後にブリードバルブを所定トルクで締め付けます。
◇ブリードバルブ「締付トルク：5.4N・m」
- リザーバータンクの油面を上限まで補充し、外した部品を元に戻します。
- 作業時にブレーキフルードが付着した場所などは十分に水で洗い流してください。

43. フューエルタンクの取り付け

- フューエルホースのクイックコネクタをタンクに挿し込みます。
※「カチッ」と音が鳴ればロックされます。その後はクイックコネクタが抜けかないか確認を行なってください。
- フューエルポンプ 5P カブラーを接続します。
- フューエルタンクリザーバークラスホースを取り付けます。
- タンクをマウントラバーに挿し込みタンク後方をフューエルタンクマウントボルトとカラーで取り付けます。
- メインキーを ON にしてフューエルポンプの作動が終わるまで待ちます。エンジンストップスイッチを ON⇒OFF させ、再びフューエルポンプを作動させます。
※フューエルポンプを作動させる作業を2～3回繰り返し、燃料が漏れていないことを点検してください。

44. 純正シートの取り付け

- 取り外した逆の手順で純正シートを取り付けます。

45. 点検作業

- ハンドルを左右にきって接触する部分がないか、各部が確実に取り付けされているか、運転操作に支障がないか、ケーブル類やハーネス、ホース類が無理に引っ張られたり挟み込んでいる場所がないか、ブレーキが正常に動作することを点検してください。
- エンジンを始動し灯火類が正常に作動することやハンドルを左右に切ってアイドリング状態からエンジン回転が変化しないか確認します。
- 各部、異常がなければ作業は終了です。

■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

- 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
- 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面（レシートなど）が必要となります。

※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。

- 下記のアドレス（またはQRコード）より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を以って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



■保証修理の受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/form.php>



株式会社 **デイトナ**
東証スタンダード上場

転載 本取扱説明書の内容の一部、
禁止 または全ての無断転載を禁止

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805 <https://www.daytona.co.jp>